

# クラウドファイルサーバー操作マニュアル

【管理機能】

第 2.11 版

2021/09/28

富士通株式会社

## ＜変更履歴＞

版数	発行日	変更内容
初版	2013/01/08	—
2.0	2013/04/11	・「5.1. ログインする」の＜注意！＞ 「8.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」を「7.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」に修正。
2.1	2013/07/16	・「5.1. ログインする」の（2） ログイン画面のデザインを変更。 ・「5.2. ログアウトする」の（2） ログイン画面のデザインを変更。
2.2	2014/08/05	・「7.2. ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」 アドレス制限の組合せ条件の設定を追加。 ・「7.3. ファイルサーバーへの MAC アドレス制限（特定ユーザー）を設定する」 MAC アドレス制限（特定ユーザー）の設定を追加。 ・「7.4. アクセス制限の設定例」 IP アドレスと MAC アドレスによるアクセス制限の設定例を追加。 ・「7.5. 版数管理の利用有無を設定する」 版数管理の設定を追加。 ・「11.2. 一般ユーザーの操作ログを照会する」 検索条件「アクション」を追加。 ・「11.2. 一般ユーザーの操作ログをダウンロードする」 検索条件「アクション」を追加する。
2.3	2014/10/08	・「10.5 バックアップ処理の稼働状況を照会する」を追加する。 ・「11.6 バックアップデータの操作ログを照会する」を追加する。 ・「11.7 バックアップデータの操作ログをダウンロードする」を追加する。 ・「11.8 データのバックアップログを照会する」を追加する。 ・「11.9 データのバックアップログをダウンロードする」を追加する。 ・「16. オプションサービスの利用設定を行う」を追加する。
2.4	2015/07/30	・「7.7 パスワード文字種の組合せとパスワード有効日数を設定する」を追加する。
2.5	2016/05/20	・「9.3 ユーザーを一括登録する」のパスワード更新の注意事項を追加する。
2.6	2016/06/28	・「7.3 ファイルサーバーへの MAC アドレス制限（特定ユーザー）を設定する」 画像を変更する。 ・「7.5 版数管理の利用有無と版数の自動削除を設定する」を追加する。

		<ul style="list-style-type: none"><li>・「7.6 ごみ箱の自動削除を設定する」を追加する。</li><li>・「7.7 アカウントロックするログインエラー回数を設定する」の画像を変更する。</li><li>・「7.8 パスワード文字種の組合せとパスワード有効日数を設定する」画像を変更する。</li></ul>
2.7	2016/11/01	・「16.3.ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定を行う」を追加する
2.8	2017/01/24	マニュアルの名称を見直す。
2.9	2019/04/01	<ul style="list-style-type: none"><li>・「5.1.ログインする」(1) Welcome 画面の変更</li><li>・「9.1.ユーザーを新規に登録する」(3) ユーザーID に指定できない予約語について記載を追記する。</li><li>・「11.1.操作ログ取得の対象となる操作」 管理機能とキャビネットオーナー機能の操作 を詳細化する。</li></ul>
2.10	2020/02/19	以下の項目を加筆修正 <ul style="list-style-type: none"><li>・「7.2. ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」</li><li>・「8.2. キャビネットを作成する」</li><li>・「16.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定を行う」</li></ul>
2.11	2021/09/28	・「9. ユーザーを管理する」に 2 段階認証 を追加

目次

1.	はじめに.....	6
2.	本書の目的 .....	6
3.	本書の位置づけ .....	6
4.	管理機能でできること .....	7
5.	ログインとログアウト.....	9
5.1.	ログインする.....	9
5.2.	ログアウトする.....	12
6.	管理機能の画面構成 .....	13
7.	システム管理情報を設定する.....	15
7.1.	ファイルサーバーの利用容量とユーザー数を設定する .....	16
7.2.	ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する.....	18
7.3.	ファイルサーバーへの MAC アドレス制限（特定ユーザー）を設定する .....	22
7.4.	アドレス制限の設定例.....	25
7.5.	版数管理の利用有無と版数の自動削除を設定する.....	27
7.6.	ごみ箱の自動削除を設定する .....	29
7.7.	アカウントロックするログインエラー回数を設定する.....	30
7.8.	パスワード文字種の組合せとパスワード有効日数を設定する.....	31
8.	キャビネットを管理する.....	32

---

8.1.	キャビネット一覧を表示する .....	32
8.2.	キャビネットを作成する .....	34
8.3.	キャビネット情報を変更する .....	38
8.4.	キャビネットを削除する .....	40
9.	ユーザーを管理する.....	42
9.1.	ユーザーを新規に登録する .....	42
9.2.	ユーザー情報を表示する .....	47
9.3.	ユーザーを一括登録する .....	48
9.4.	ユーザー情報を変更する .....	54
9.5.	ユーザーを削除する .....	58
9.6.	ユーザーを検索する.....	59
10.	ファイルサーバーの稼働状況を照会する.....	61
10.1.	ファイルサーバーに設定されている容量とユーザー数を照会する.....	61
10.2.	ファイルサーバーの利用容量実績の推移を照会する .....	63
10.3.	キャビネットの稼働状況を照会する .....	64
10.4.	ユーザーの稼働状況を照会する .....	66
10.5.	バックアップ処理の稼働状況を照会する.....	69
11.	操作ログを照会する .....	70
11.1.	操作ログ取得の対象となる操作.....	70
11.2.	一般ユーザーの操作ログを照会する.....	71

---

11.3.	一般ユーザーの操作ログをダウンロードする.....	75
11.4.	管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログを照会する.....	77
11.5.	管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログをダウンロードする.....	79
11.6.	バックアップデータの操作ログを照会する.....	81
11.7.	バックアップデータの操作ログをダウンロードする.....	84
11.8.	データのバックアップログを照会する.....	86
11.9.	データのバックアップログをダウンロードする.....	89
12.	パスワードを変更する.....	91
13.	マニュアルを閲覧する.....	93
14.	ファイルサーバーのサポートサイトを表示する.....	94
15.	管理機能のバージョン情報を確認する.....	95
16.	オプションサービスの利用設定を行う.....	96
16.1.	バックアップオプションサービスの利用設定を行う.....	97
16.2.	タブレット対応オプションサービスの利用設定を行う.....	101
16.3.	ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定を行う.....	107

本書は、2021年9月28日時点の情報をもとに作成したものです。改良のため予告なく変更することがあります。

本書の無断複製および転載を禁じます。

本書に記載されている会社名・製品名・システム名・サービス名などは、各社の登録商標、もしくは商標です。

## 1. はじめに

クラウドファイルサーバー（以下、ファイルサーバー）は、クラウドコンピューティング技術を活用したファイルの保管・共有サービスです。

## 2. 本書の目的

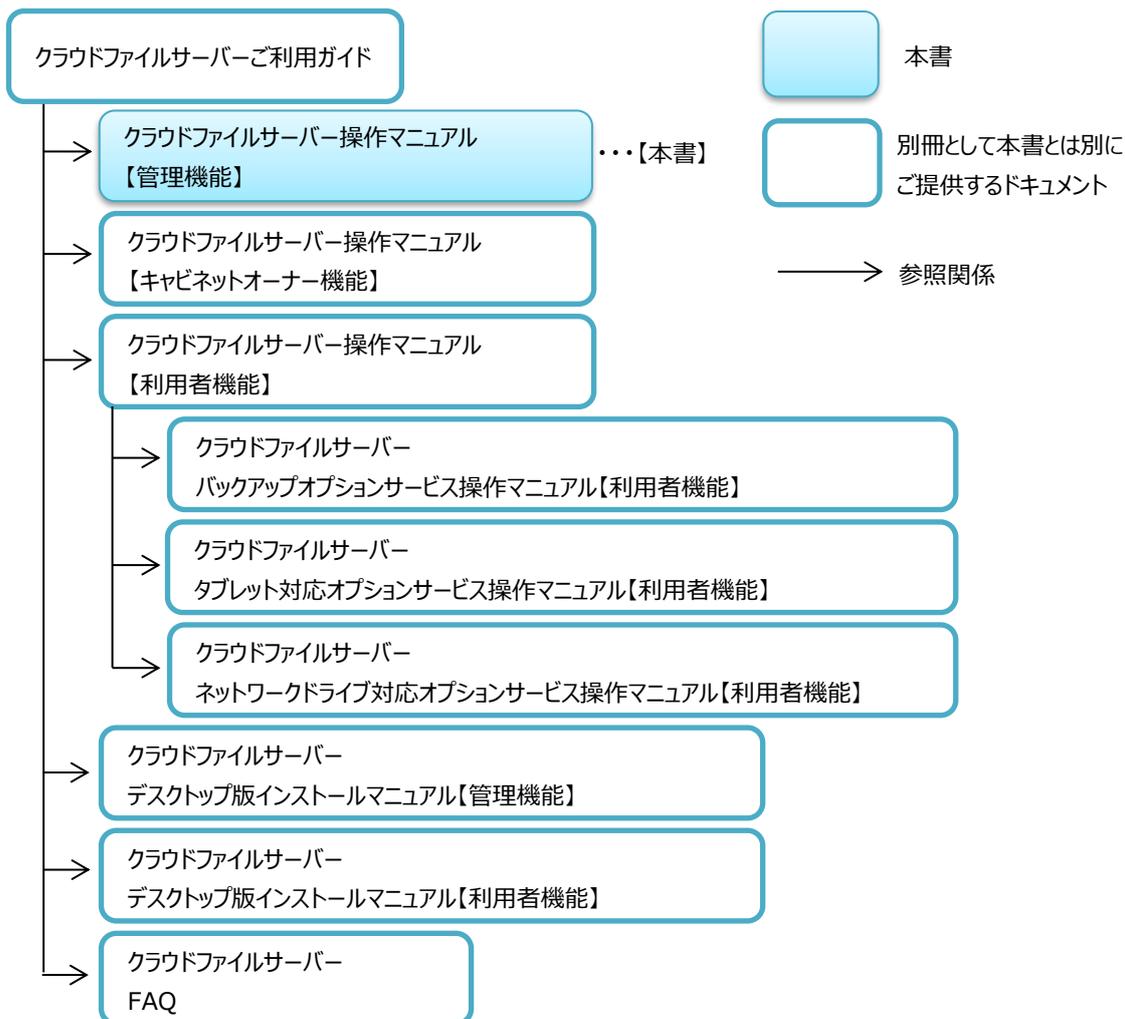
ファイルサーバーの管理権限を有するユーザー（以下、ファイルサーバー管理者）の方を対象に、ファイルサーバー管理機能（以下、管理機能）の操作方法について説明することを目的としています。

なお、本書は事前に別冊の「[クラウドファイルサーバーご利用ガイド](#)」をご覧くださいという前提としています。

## 3. 本書の位置づけ

本書は、他のドキュメントに対し、以下のような参照関係があります。

必要に応じて対象のドキュメントをご参照ください。



## 4. 管理機能でできること

---

本章では、ファイルサーバー管理者が利用する管理機能でできることについて説明します。

管理機能は、次のような機能を提供します。なお、各機能の画面の配置は、本書の「6. 管理機能の画面構成」を参照してください。

### (1) システム管理

法人名（貴社名）、ファイルサーバーの容量やユーザー数、アカウントロックするためのログインの失敗回数を設定します。また、グローバル IP アドレス（以下、IP アドレス）や MAC アドレスでのファイルサーバーへのアクセス制限を設定することができます。さらに、版数管理機能の利用有無や、ごみ箱の自動削除の有無、パスワードポリシーを設定できます。

なお、システム管理で設定されたファイルサーバーの容量とユーザー数の最大値で月々のご利用料金が請求されます。

### (2) キャビネット管理

キャビネットの作成、更新、削除および利用容量の照会を行うことができます。

### (3) ユーザー管理

ファイルサーバーを利用するユーザーの登録、変更、削除を行います。ユーザーを一括登録することもできます。ユーザーへの管理権限付与（ファイルサーバー管理者に指定）もユーザー管理で行います。

### (4) ファイルサーバーの容量

当月を含めて過去 1 年分のファイルサーバー契約容量、利用者数、バックアップ保持世代数（オプションご利用時）を月毎に照会できます。

### (5) 利用者数設定状況

過去 30 日分のファイルサーバー利用実績等を折れ線グラフで照会できます。

### (6) キャビネット稼働状況

ファイルサーバーに作成されているキャビネット一覧を照会できます。キャビネット一覧では、キャビネットの使用容量や格納されているファイル数なども照会できます。

### (7) ユーザー稼働状況

ファイルサーバーに登録されているユーザー数とユーザー利用実績数をユーザー区分（社員、社外など）ごとに照会できます。

(8) ユーザー操作ログ表示

ファイルサーバーの操作ログを照会できます。

(9) 管理者操作ログ表示

ファイルサーバー管理者とキャビネットオーナーの操作ログを照会できます。

(10) パスワード変更

ファイルサーバー管理者のパスワードを変更できます。

## 5. ログインとログアウト

本章では、ファイルサーバー管理者が利用する管理機能へのログインとログアウトの操作について説明します。はじめて、ログインする場合は、初期パスワードの変更が必要となります。詳細は、別冊の「[クラウドファイルサーバーご利用ガイド](#)」をご覧ください。

### 5.1. ログインする

ユーザーIDとパスワードでログインします。

- (1) 管理機能 URL にアクセスすると、「クラウドファイルサーバーへようこそ」画面（以下、Welcome 画面）が表示されます。【ファイルサーバーを開く】をクリックします。

クラウドファイルサーバー 管理機能

### クラウドファイルサーバーへようこそ

**デスクトップ版について【推奨】**

デスクトップ版は、ご利用のWindowsパソコンにデスクトップアプリケーションとしてインストールして利用します。デスクトップ版の特徴は以下のとおりです。

- ◇Proxy認証をサポートします。  
ブラウザアプリケーション版は対応していません。
- ◇ブラウザは必要ありません。  
Windows OSのみで利用できます。
- ◇Windows10で利用できます。  
ブラウザアプリケーション版では、一部機種(Surfaceなど)のWindows10のディスプレイドライバに起因する問題で正しく表示されない場合があります。

ご利用を開始するには、[こちらのマニュアル](#)にしたがいインストールして下さい。  
管理者機能のデスクトップ版のアプリケーションは[こちらからダウンロード](#)できます。

ブラウザアプリケーション版をご利用の場合は、以下をご参照下さい。

**ご利用にあたって**

本サービスをご利用いただくためには、本サービスのURLをInternet Explorerの「信頼済みサイト」に登録する必要があります。

**【登録方法】**  
[インターネットオプション]の[セキュリティ]で[信頼済みサイト]を選択し、  
[サイト] ボタンをクリックします。  
[このWebサイトをゾーンに追加する] に本画面のURLを入力し、[追加] ボタンをクリックします。

**Internet Explorer ご利用の際の注意事項**

Internet Explorer 11 をご利用の際は、インターネットオプションの詳細設定を変更する必要があります。

**【変更方法】**  
[インターネットオプション]の[詳細設定]を選択します。  
[設定]のツリーで、「セキュリティ」の「暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。

下のボタンをクリックした際にエラー画面が表示され、ログイン画面が表示されない場合は[FAQ](#)もご確認ください。

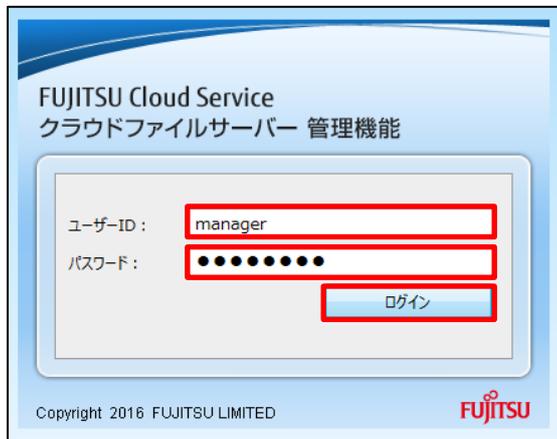
**クラウドファイルサーバーを開く**

**クラウドファイルサーバーへの接続可否の確認**

ご利用になるネットワーク環境のプロキシやファイアウォールで接続先を制限している場合は、接続確認を行ってください。

**接続を確認する**

- (2) 管理機能のログイン画面が表示されます。  
 【ユーザーID】と【パスワード】を入力し【ログイン】ボタンをクリックします。

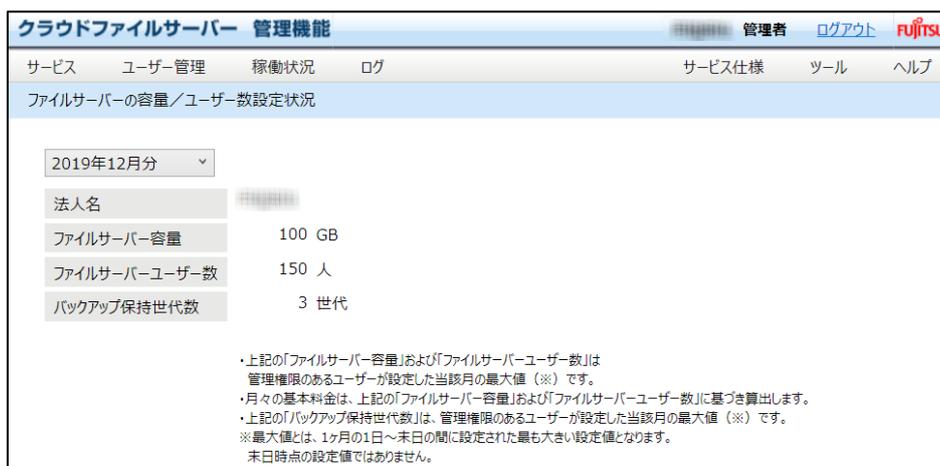


- (3) 2段階認証が有効なアカウントの場合は、2段階認証アプリに表示される認証コード（数字6ケタ）を入力し、【確認】ボタンを押下します。



2段階認証の有効化	<a href="#">操作マニュアル【利用者機能】 28.2 2段階認証を有効化する</a> を参照
2段階認証の無効化	<a href="#">操作マニュアル【管理機能】 9.1.ユーザーを変更する の ⑭</a> を参照
	<a href="#">操作マニュアル【利用者機能】 28.3 2段階認証を無効化(解除)する</a> を参照

- (4) ログインに成功すると管理機能の初画面が表示されます。  
 初画面には、システム管理で設定したファイルサーバーの利用容量とユーザー数が表示されます。初期値は、容量が 50GB、ユーザー数が 50 ユーザーに設定されています。



<注意！>

- IP アドレスや MAC アドレスでのアクセス制限を利用する場合は、ユーザーID、パスワードとともにログイン時にアクセス制限がチェックされます。ユーザーIDとパスワードが正しくても、登録された IP アドレスのネットワークや MAC アドレスのパソコン以外でログインするとログインエラーとなります。詳細は、IP アドレス制限については、本書「7.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」、MAC アドレス制限については、本書「7.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」と「9. ユーザーを管理する」をご覧ください。

## 5.2. ログアウトする

管理機能からのログアウトは、画面右上（ヘッダー）にある【ログアウト】をクリックします。

- (1) 【ログアウト】をクリックします。



- (2) ログアウトすると、管理機能のログイン画面が表示されます。



## 6. 管理機能の画面構成

本章では、管理機能の画面上に配置されたそれぞれのエリアについて説明します。

ログインに成功すると管理機能の画面が表示されます。管理機能の画面は、次の4つのエリアから構成されます。

### ① ヘッダー

画面の最上部に表示され、ログインしているユーザーの法人名とユーザー名が表示されます。さらに、ログアウトするための「ログアウト」リンクが表示されます。

なお、法人名の初期値は、弊社で設定した法人名が表示されます。ユーザー名は、サービス管理者がログインした場合、初期値として「サービス管理者」と表示されますので、必要に応じて変更してください。

### ② 操作メニュー表示選択エリア

操作メニュー表示選択エリアは、6つのメニューから構成されています。

#### ・ 「サービス」メニュー

サービスメニューでは、「システム管理」と「キャビネット管理」の機能を提供します。

システム管理では、ファイルサーバーの利用容量やユーザー数、IPアドレスやMACアドレスによるアクセス制限、版数管理の利用有無などの設定が行えます。キャビネット管理では、キャビネットの作成やキャビネットオーナー設定も行えます。詳細は、本書「7. システム管理情報を設定する」と「8. キャビネットを管理する」をご覧ください。

#### ・ 「ユーザー管理」メニュー

ユーザー管理メニューでは、「ユーザーの編集」と「ユーザーの一括登録」の機能を提供します。ユーザーの編集では、ファイルサーバーを利用するユーザーの登録や変更、削除等を行えます。ユーザーの一括登録では、テンプレートファイル（Microsoft EXCEL ファイル形式）に、登録するユーザー一覧を作成し、ファイルサーバーに一括して登録することができます。詳細は、本書「9. ユーザーを管理する」をご覧ください。

- ・ 「稼働状況」メニュー  
稼働状況メニューでは、「ファイルサーバーの容量とユーザー数の設定状況」、「ファイルサーバー容量等の利用状況」、「キャビネットの稼働状況」、「ユーザーの稼働状況」を照会できます。  
ファイルサーバーの容量とユーザー数の設定状況では、ファイルサーバーの容量やユーザー数の設定値、バックアップ保持世代数（オプションご利用時）を照会できます。  
ファイルサーバー容量等の利用状況では、ファイルサーバーやキャビネット容量の利用実績推移（過去 30 日）を折れ線グラフで照会できます。  
キャビネットの稼働状況では、キャビネットごとの割当容量や容量の利用実績を照会できます。  
ユーザーの稼働状況ではユーザーの登録数や利用実績を日毎に照会できます。  
詳細は、本書「10. ファイルサーバーの稼働状況を照会する」をご覧ください。
  - ・ 「ログ」メニュー  
ログメニューでは、「ファイルサーバーの操作ログ」と「ファイルサーバー管理者とキャビネットオーナーの操作ログ」を照会することができます。また、CSV 形式でダウンロードすることもできます。  
詳細は、本書「11. 操作ログを照会する」をご覧ください。
  - ・ 「サービス仕様」メニュー  
サービス仕様メニューでは、「クラウドファイルサーバー サービス仕様」、お客様のご契約により「利用規約」「価格表」が表示されます。
  - ・ 「ツール」メニュー  
ツールメニューでは、「パスワード変更」の機能を提供します。「パスワード変更」では、ファイルサーバー管理者のパスワードを変更することができます。詳細は、「12. パスワードを変更する」をご覧ください。
  - ・ 「ヘルプ」メニュー  
ヘルプメニューでは、「クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】（本書）」、「ファイルサーバーのサポートサイト」、「管理機能のバージョン情報」を照会することができます。詳細は、本書「13. マニュアルを閲覧する」、本書「14. ファイルサーバーのサポートサイトを表示する」、本書「15. 管理機能のバージョン情報を確認する」をご覧ください。
- ③ 画面名表示エリア  
ワークエリアに表示されている画面名を表示します。
- ④ ワークエリア  
操作メニュー表示選択エリアで選択された各機能の画面を表示します。データの入力や表示を行うエリアです。

## 7. システム管理情報を設定する

---

本章では、システム管理の設定内容およびその操作について説明します。

システム管理では、次のような設定を行います。

- ・ ファイルサーバーの利用容量とユーザー数を設定する
- ・ ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する
- ・ ファイルサーバーへの MAC アドレス制限（特定ユーザー）を設定する
- ・ 版数管理の利用有無と版数の自動削除を設定する
- ・ ごみ箱の自動削除を設定する
- ・ アカウントロックするログインエラー回数を設定する
- ・ パスワード文字種の組合せとパスワード有効日数を設定する

## 7.1. ファイルサーバーの利用容量とユーザー数を設定する

ファイルサーバーで利用する容量とファイルサーバーを利用するユーザー数を選択します。容量、ユーザー数とも選択した数値を超えてのご利用はできません。利用実績に応じて変更してください。変更した内容は即時有効となります。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【サービスメニュー】—【システム管理】の順番でクリックします。



- (2) システム管理画面が表示されます。ここでは、「法人名」と「ファイルサーバー容量」および「ファイルサーバーユーザー数」を設定します。

### ① 法人名

法人名（貴社名）を入力します。初期値は、弊社で設定した法人名が表示されます。必要に応じて変更してください。法人名の入力文字数には制限はありません。また、文字には半角英数字記号、全角英数字記号が使えます。

② ファイルサーバー容量

ファイルサーバーの利用容量をリストボックスから選択します。容量値は、暗号化後のファイルの容量の合計値となります。容量値は、最小 50GB から最大 10TB の中から選択します。100GB 以下は 50GB 単位での選択、100GB 以上 1TB 以下は 100GB 単位での選択、1TB 以上は 1TB 単位での選択となります。

なお、現在の利用実績値未満に設定することはできません。

③ ファイルサーバーユーザー数

ファイルサーバーに登録されるユーザー数をリストボックスから選択します。最小 50ID から最大 5,000ID の中から選択します。ユーザー数は、1,000ID までが 50ID 単位での選択となります。1,000ID を超えると 500ID 単位での選択となります。

続けて、ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する場合は、次の「7.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」にお進みください。「ファイルサーバーの利用容量とユーザー数を設定する」で終了する場合は、【更新する】をクリックして保存してください。

<注意！>

- システム管理画面で設定したファイルサーバーのご利用容量値とユーザー数によって、ご利用料金が月毎に請求されます。なお、ご利用料金の請求は、月毎の最大の容量値とユーザー数によって行われます。
- ユーザー数には、管理機能のみを利用されるユーザーID や弊社よりお知らせしたサービス管理者のユーザー数も含まれます。

## 7.2. ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する

アクセス制限は、IP アドレスと MAC アドレスで行います。会社や事業所などの単位でアクセス制限をしたい場合は、IP アドレスでアクセス制限を設定します。さらに、パソコン単位でアクセス制限をしたい場合は、MAC アドレスでアクセス制限を行います。IP アドレスだけで制限、MAC アドレスだけで制限、IP アドレスと MAC アドレスの両方で制限することもできます。また、IP アドレス制限と MAC アドレス制限で【利用する】を選択した場合、アクセス制限の組合せ条件を指定できます。

- (1) システム管理画面で「IP アドレス制限」と「MAC アドレス制限」と「アクセス制限の組合せ条件」について設定します。

- ① IP アドレス制限 (すべてのユーザー)  
IP アドレスでアクセス制限をしない場合は【利用しない】を選択します。アクセス制限をする場合は【利用する】を選択します。【利用する】を選択した場合は、登録された IP アドレスのネットワーク以外からのアクセスはできません。ここで設定した IP アドレス制限は、すべてのユーザーが対象となります。
- ② 「IP アドレス設定」ボタン  
IP アドレス制限で【利用する】を選択した時に使用します。詳細は、次の (2) で説明します。

## ③ MAC アドレス制限（すべてのユーザー）

MAC アドレスでアクセス制限をしない場合は【利用しない】を選択します。アクセス制限をする場合は【利用する】を選択します。【利用する】を選択した場合は、MAC アドレスが登録されていないパソコンからのアクセスはできません。ここで設定した MAC アドレス制限は、すべてのユーザーが対象となります。

## ④ アクセス制限の組合せ条件

IP アドレス制限と MAC アドレス制限で【利用する】を選択した場合、アクセス制限の組合せ条件を指定できます。IP アドレス制限と MAC アドレス制限の両方でアクセス制限をする場合は、『「IP アドレス」かつ「MAC アドレス」でアクセス制限する』をチェックします。IP アドレス制限と MAC アドレス制限のどちらか片方でアクセス制限をする場合は、『「IP アドレス」または「MAC アドレス」でアクセス制限する』をチェックします。

『「IP アドレス」または「MAC アドレス」でアクセス制限する』を選択すると、例えば社内など IP アドレス制限で登録された IP アドレスのネットワークから利用するユーザーは、IP アドレスでアクセスチェックします。社外や取引先など IP アドレス制限で登録した IP アドレスのネットワーク以外からのアクセスは、MAC アドレスでチェックすることができます。これにより、MAC アドレス制限（すべてのユーザー）に、社外で利用するパソコンや取引先のパソコンのみを登録すればよくなります。

(2) 「IP アドレス制限」で【利用する】を選択する場合は、【IP アドレス設定】をクリックします。

The screenshot shows the management interface for a cloud file server. The top navigation bar includes 'クラウドファイルサーバー 管理機能', '管理者', 'ログアウト', and the 'FUJITSU' logo. Below the navigation bar, there are tabs for 'サービス', 'ユーザー管理', '稼働状況', 'ログ', 'サービス仕様', 'ツール', and 'ヘルプ'. The main content area is titled 'システム管理' and contains a message: '変更を有効にするには、画面下にある「更新する」ボタンを押してください。' (To make changes effective, please click the 'Update' button at the bottom of the screen.)

The settings are organized into several sections:

- 法人名:** A text input field.
- ファイルサーバー容量:** A dropdown menu set to '100GB'.
- ファイルサーバーユーザー数:** A dropdown menu set to '150' with the unit '人' (people).
- IPアドレス制限（すべてのユーザー）:** Radio buttons for '利用しない' (not selected) and '利用する' (selected). A red box highlights the 'IPアドレス設定' button next to the '利用する' option.
- MACアドレス制限（すべてのユーザー）:** Radio buttons for '利用しない' (selected) and '利用する'.
- アクセス制限の組合せ条件:** Radio buttons for '「IPアドレス」かつ「MACアドレス」でアクセス制限する' (selected) and '「IPアドレス」または「MACアドレス」でアクセス制限する'.
- MACアドレス制限（特定ユーザー）:** Radio buttons for '利用しない' and '利用する' (selected). A '設定' (Settings) button is next to the '利用する' option.

Footnotes at the bottom of the form state:
   
※「IPアドレス制限（すべてのユーザー）」と「MACアドレス制限（すべてのユーザー）」がともに「利用する」の場合に有効になります。
   
※本設定で指定されたユーザーは、「IPアドレス制限（すべてのユーザー）」、「MACアドレス制限（すべてのユーザー）」、「アクセス制限の組合せ条件」の制約を受けません。

- (3) アクセスが許可される IP アドレスが一覧で表示されます。新規に登録する場合は、IP アドレスを入力し【追加】ボタンをクリックします。登録された IP アドレスは、「IP アドレス許可リスト」に追加されます。

IP アドレスの入力は、IPv4 形式 (XXX.XXX.XXX.XXX) で入力します。以下のように範囲を指定して登録することも可能です。登録できる IP アドレスの数には制限はありません。

<範囲・レンジによる登録例>

10.0.0.1-10.0.0.254

IPアドレス許可設定

IPアドレス

IPアドレス許可リスト

No	IPアドレス
1	180.43.8.247
2	180.43.32.103

【操作説明】

- ・IPアドレスを登録する際は、IPアドレスを入力し「追加」ボタンを押してください。
- ・IPアドレスを削除する際は、IPアドレス許可リストの該当のIPアドレスを選択し [Del]キーを押してください。
- ・IPアドレスの編集が完了したら「保存」ボタンを押してください。

<注意！>

許可対象の IP アドレスは“グローバル IP アドレス”です。事業所等からインターネットへの出口となるインターネットゲートウェイのグローバル IP アドレスを登録することで、利用する場所を制限することができます。

各端末に割り振られているプライベート IP アドレスではございませんのでご注意ください。

- (4) 登録された IP アドレスが「IP アドレス許可リスト」に追加されます。IP アドレス設定が終了したら、【保存】ボタンをクリックします。

No	IPアドレス
1	180.43.8.247
2	180.43.32.103
3	10.115.187.90

**【操作説明】**

- ・IPアドレスを登録する際は、IPアドレスを入力し「追加」ボタンを押してください。
- ・IPアドレスを削除する際は、IPアドレス許可リストの該当のIPアドレスを選択し [Del]キーを押してください。
- ・IPアドレスの編集が完了したら「保存」ボタンを押してください。

登録されている IP アドレスを削除する場合は、「IP アドレス許可リスト」から該当 IP アドレスを選択して、[Del] キーを押下してください。IP アドレスを変更する場合は、該当 IP アドレスを削除して、変更する IP アドレスを新規に登録します。

### 7.3. ファイルサーバーへの MAC アドレス制限（特定ユーザー）を設定する

「7.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」での設定は、すべてのユーザーがアクセス制限の対象となります。MAC アドレス制限（特定ユーザー）では、特定のユーザーのみ、MAC アドレス制限を有効にします。

また、MAC アドレス制限（特定ユーザー）として設定されたユーザーは、「7.2 ファイルサーバーへのアクセス制限を設定する」で設定した IP アドレス制限（すべてのユーザー）、MAC アドレス制限（すべてのユーザー）、アクセス制限の組合せ条件が設定されていても、それらの制約をうけず、対象外のユーザーとなります。

MAC アドレス制限（特定ユーザー）は、例えば、個人情報や機密情報など重要情報を扱うユーザーに対して、ファイルサーバーにアクセスできるパソコンを固定する場合などに利用できます。

- (1) システム管理画面で「MAC アドレス制限（特定ユーザー）」について設定します。

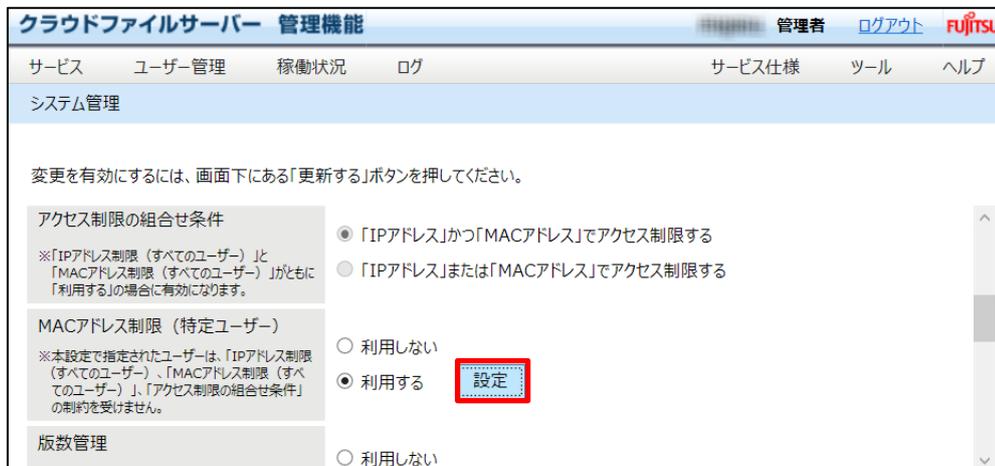
The screenshot shows the 'System Management' page in the Cloud File Server Management Interface. The page title is 'クラウドファイルサーバー 管理機能'. The user is logged in as '管理者' (Administrator) and can log out ('ログアウト') or view the Fujitsu logo. The navigation menu includes 'サービス', 'ユーザー管理', '稼働状況', 'ログ', 'サービス仕様', 'ツール', and 'ヘルプ'. The main content area is titled 'システム管理' and contains a message: '変更を有効にするには、画面下にある「更新する」ボタンを押してください。' (To enable changes, please click the 'Update' button at the bottom of the screen.)

The settings are organized into sections:

- アクセス制限の組合せ条件** (Access Restriction Combination Conditions):
  - Radio button selected: 「IPアドレス」かつ「MACアドレス」でアクセス制限する (Access restriction with both IP address and MAC address).
  - Radio button unselected: 「IPアドレス」または「MACアドレス」でアクセス制限する (Access restriction with either IP address or MAC address).
- MACアドレス制限（特定ユーザー）** (MAC Address Restriction (Specific User)) - marked with a red circled 1:
  - Radio button selected: 利用しない (Do not use).
  - Radio button unselected: 利用する (Use).
  - A '設定' (Settings) button - marked with a red circled 2 - is located next to the '利用する' option.
- 版数管理** (Version Management):
  - Radio button unselected: 利用しない (Do not use).

- ① MAC アドレス制限（特定ユーザー）  
MAC アドレス制限（特定ユーザー）でアクセス制限をしない場合は【利用しない】を選択します。アクセス制限をする場合は【利用する】を選択します。
- ② 「設定」ボタン  
MAC アドレス制限（特定ユーザー）で【利用する】を選択した時に使用します。  
詳細は、次の（2）で説明します。

- (2) 「MAC アドレス制限（特定ユーザー）」で【利用する】を選択する場合は、【設定】をクリックします。



- (3) 登録されているユーザーが一覧で表示されます。新規に登録する場合は、ユーザーで該当ユーザーを選択し「→」ボタンをクリックします。





## 7.4. アドレス制限の設定例

IP アドレス制限と MAC アドレス制限の設定例を示します。「○」は、選択を示します。「－」は、無効を示します。

- (1) 決められた IP アドレスのネットワーク内のパソコンから利用する場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の <sup>※1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ <sup>※2</sup>	または <sup>※3</sup>	利用しない	利用する
	○	○		－	－	○	

- (2) 決められたパソコンで利用する場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の <sup>※1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ <sup>※2</sup>	または <sup>※3</sup>	利用しない	利用する
○			○	－	－	○	

- (3) 決められた IP アドレスのネットワーク内で決められたパソコンで利用する場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の <sup>※1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ <sup>※2</sup>	または <sup>※3</sup>	利用しない	利用する
	○		○	○		○	

- (4) 決められた IP アドレスのネットワーク内のパソコンとネットワーク外（取引先など）のパソコンで利用する場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の <sup>※1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ <sup>※2</sup>	または <sup>※3</sup>	利用しない	利用する
	○		○		○	○	

- (5) 決められた IP アドレスのネットワーク内の決められたパソコンとネットワーク外（取引先など）の決められたパソコンで利用する場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の <sup>※1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ <sup>※2</sup>	または <sup>※3</sup>	利用しない	利用する
	○		○	○			○

(6) 特定のユーザーのみアクセス制限し、他のユーザーはアクセス制限しない場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の※ <sup>1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ※ <sup>2</sup>	または※ <sup>3</sup>	利用しない	利用する
○		○		—	—		○

(7) 決められた IP アドレスのネットワーク内のパソコンから利用し、特定のユーザーは、利用できるパソコンを固定する場合。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の※ <sup>1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ※ <sup>2</sup>	または※ <sup>3</sup>	利用しない	利用する
	○	○		—	—		○

(8) 決められたパソコンでのみ利用し、特定のユーザーは、利用できるパソコンを固定する。

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の※ <sup>1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ※ <sup>2</sup>	または※ <sup>3</sup>	利用しない	利用する
○			○	—	—		○

(9) アクセス制限しない場合

IP アドレス制限 (すべてのユーザー)		MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)		アクセス制限の※ <sup>1</sup> 組合せ条件		MAC アドレス制限 (特定ユーザー)	
利用しない	利用する	利用しない	利用する	かつ※ <sup>2</sup>	または※ <sup>3</sup>	利用しない	利用する
○		○		—	—	○	

※1 「IP アドレス制限 (すべてのユーザー)」と「MAC アドレス制限 (すべてのユーザー)」でアクセス制限する」が両方とも【利用する】を選択した場合に選択可能となります。

※2 「IP アドレス (すべてのユーザー) かつ MAC アドレス (すべてのユーザー) でアクセス制限する」を示します。

※3 「IP アドレス (すべてのユーザー) または MAC アドレス (すべてのユーザー) でアクセス制限する」を示します。

## 7.5. 版数管理の利用有無と版数の自動削除を設定する

直接編集、アップロード、コピー、移動の操作で、同名のファイルが存在した場合にファイルを上書きする際、上書きされるファイルを過去の版数として版数管理します。版数管理されたファイルは、ダウンロードや最新版として復元することができます。

版数管理されたファイルは、利用容量に加算されます。

版数の自動削除を【利用しない】に設定した場合、版数は無限に管理できます。

版数の自動削除を【利用する】に設定した場合、設定された保存世代数分の版数が管理されます。

版数管理の利用は、【利用する】に設定することで、利用できます。初期値は、【利用しない】に設定されています。

版数の自動削除の初期値は【利用しない】に設定されています。

ファイルの版数管理の詳細は、「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【利用者機能】](#)」を参照ください。

- (1) システム管理画面で「版数管理」と「版数の自動削除」について設定します。

The screenshot shows the 'Cloud File Server Management' interface. At the top, there are navigation tabs: 'サービス', 'ユーザー管理', '稼働状況', 'ログ', 'サービス仕様', 'ツール', and 'ヘルプ'. Below these is a 'システム管理' section. A message states: '変更を有効にするには、画面下にある「更新する」ボタンを押してください。' Below this, there are three settings sections: '版数管理', '版数の自動削除', and 'ごみ箱の自動削除'. The '版数管理' section has two radio buttons: '利用しない' and '利用する', with the '利用する' option selected and marked with a red circled '1'. The '版数の自動削除' section has two radio buttons: '利用しない' and '利用する', with the '利用する' option selected and marked with a red circled '2'. To the right of the '利用する' option, there is a text input field for '保存世代' with the value '10' and the unit '世代'.

### ① 版数管理

版数管理を利用する場合は【利用する】を選択します。【利用する】を選択すると、ファイルサーバーでファイルの版数管理が利用できます。

版数管理を使用しない場合は【利用しない】を選択します。【利用しない】を選択すると、ファイルサーバーでファイルの版数管理が利用できなくなります。また、版数管理されていたファイルの版数の履歴は参照できなくなります。再度、【利用する】を選択すると、版数の履歴を参照できます。

### ② 版数の自動削除

版数管理で【利用する】を選択された場合のみ設定できます。

【利用する】を選択すると、設定された保存世代数以上の版数を管理しているファイルについて、保存世代数以上の版数を古い方から順番に削除します。

【利用しない】を選択すると版数を無限に管理します。

<注意！>

- 上書き保存の時点では版数の世代数を制限しません。
- 1日に1回、保存世代数以上の版数を管理しているファイルについて、削除を行います。

※自動削除は深夜1時から6時の間に行われます。

## 7.6. ごみ箱の自動削除を設定する

設定された保存日数を経過したごみ箱内のファイル・フォルダを削除します。

ごみ箱の自動削除の利用は、【利用する】に設定することで、利用できます。初期値は、【利用しない】に設定されています。

- (1) システム管理画面で「ごみ箱の自動削除」について設定します。

The screenshot shows the 'システム管理' (System Management) page. The 'ごみ箱の自動削除' (Trash Automatic Deletion) section is highlighted with a red circle and the number 1. The '利用する' (Use) radio button is selected, and the '保存日数' (Retention Period) is set to 10 days. Other settings include 'アカウントロックするログインエラー回数' (10 times), 'パスワード文字種の組合せ' (Pattern 1: alphanumeric), and 'パスワード有効日数' (None). A '更新する' (Update) button is at the bottom right.

- ① ごみ箱の自動削除

ごみ箱内のファイル・フォルダを自動で削除する場合は【利用する】を選択して、保存日数に0以上の値で入力してください。

ごみ箱の自動削除を利用しない場合は、【利用しない】を選択します。

### <注意！>

- ごみ箱の自動削除は深夜1時から6時の間に行われます。

例) [保存日数]が1日の場合

- ・2016年6月22日09:00 ファイルAを削除しごみ箱へ  
2016年6月24日01:00～ [自動削除]ファイルA(ごみ箱から削除されます)
- ・2016年6月23日00:00 ファイルBを削除しごみ箱へ  
2016年6月24日01:00～ [自動削除]ファイルB(ごみ箱から削除されます)

## 7.7. アカウントロックするログインエラー回数を設定する

アカウントロックするログインエラー回数で設定した回数以上にパスワード入力を連続して間違えた場合、該当ユーザーIDの利用をできなくします（以下、アカウントロック）。

- (1) 【アカウントロックするログインエラー回数】を設定します。1 以上を設定します。初期値は 5 です。例えば、初期値 5 では、パスワード入力を 5 回連続して間違えると該当ユーザーID はアカウントロックされログインできなくなります。【更新】をクリックします。

The screenshot shows the 'Cloud File Server Management Console' interface. The 'System Management' section is active, displaying various settings. The 'Account Lockout Login Error Count' is set to 10, which is highlighted with a red box. Other settings include 'Trash automatic deletion' (checked), 'Password character combination' (Pattern 1), and 'Password validity period' (None). The 'Update' button at the bottom right is also highlighted with a red box.

- (2) 更新確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。

The screenshot shows a 'Save Confirmation' dialog box with the text '変更を保存しますか?' (Do you want to save the changes?). There are two buttons: 'はい(Y)' (Yes) and 'いいえ(N)' (No). The 'はい(Y)' button is highlighted with a red box.

なお、アカウントロックされたユーザーID を解除する場合は、【ユーザー管理】—【編集】で行うことができます。詳細は、本書「9. ユーザーを管理する」をご覧ください。

## 7.8. パスワード文字種の組合せとパスワード有効日数を設定する

使用できるパスワード文字種と有効期間を制御します。

- (1) 【パスワード文字種の組合せ】と【パスワード有効日数】を設定し、【更新する】をクリックしてください。

The screenshot shows the 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management) interface. The 'システム管理' (System Management) section is active. Below the navigation bar, there is a message: '変更を有効にするには、画面下にある「更新する」ボタンを押してください。' (To make the change effective, please click the 'Update' button at the bottom of the screen). The settings are as follows:

- ごみ箱の自動削除 (Automatic deletion of trash):  利用しない,  利用する (保存日数: 10 日)
- アカウントロックするログインエラー回数 (Account lockout login error count): 10 回
- パスワード文字種の組合せ (Password character combination):  パターン1 (「英字と数字」または「英字と記号」または「数字と記号」または「英字と数字と記号」),  パターン2 (「英字と数字と記号」)
- パスワード有効日数 (Password validity period):  指定しない,  指定する ( ) 日

The '更新する' (Update) button is located at the bottom right of the settings area.

- ① パスワード文字種の組合せ

選択できるパターンは 2 種類あります。

【パターン 1】を選択すると、ユーザーは「英字と数字」、「英字と記号」、「数字と記号」、「英字と数字と記号」のパスワードが使用できます。

【パターン 2】を選択すると、ユーザーは「英字と数字と記号」のパスワードが使用できます。

- ② パスワード有効日数

有効日数を無期限にしたい場合は、【指定しない】を選択してください。

有効期限を指定する場合は、【指定する】を選択し、有効日数 1 以上の値で入力してください。

- (2) 更新確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。

The dialog box is titled '保存確認' (Save Confirmation) and contains the text '変更を保存しますか?' (Do you want to save the changes?). At the bottom, there are two buttons: 'はい(Y)' (Yes) and 'いい(N)' (No). The 'はい(Y)' button is highlighted with a red box.

## 8. キャビネットを管理する

本章では、キャビネットを管理する操作について説明します。

ファイルサーバーでのファイル管理は、「キャビネット」-「ドロー」-「サブドロー」（任意に作成）-「フォルダ」（任意に作成）-ファイルという階層構造で管理されます。キャビネットは、ファイル管理の最上位の階層に位置づけられ、ファイルサーバーに複数作成することができます。キャビネット管理では、次のような操作を行うことができます。

- ・ キャビネット一覧を表示する
- ・ キャビネットを作成する
- ・ キャビネット情報を更新する
- ・ キャビネットを削除する

### 8.1. キャビネット一覧を表示する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【サービス】-【キャビネット管理】の順番でクリックします。



- (2) 既に作成済みのキャビネット一覧が表示されます。

クラウドファイルサーバー 管理機能

管理者 ログアウト FUJITSU

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ サービス仕様 ツール ヘルプ

キャビネット管理

① キャビネットを新規に作成する

② キャビネット名	③ 割当容量	④ 利用実績	⑤ 種別	⑥ 更新	⑦ 削除
	11 GB	4.35 GB	共有	更新	削除
	1 GB	0.01 GB	共有	更新	削除
	12 GB	9.41 GB	共有	更新	削除

- ① 「キャビネットを新規に作成する」ボタン  
新規にキャビネットを作成する場合にクリックします。
- ② キャビネット名  
キャビネット名が表示されます。

③ 割当容量

キャビネットに割当てられている利用可能容量が表示されます。

④ 利用実績

キャビネットの利用容量の実績値が表示されます。ごみ箱に保存されているファイルも実績値に含まれます。

⑤ 種別

キャビネットの種類が複数ユーザーで共有するキャビネットか、プライベート（個人利用）で利用するキャビネットかを表示します。

⑥ 「更新」ボタン

キャビネットの情報を変更します。

⑦ 「削除」ボタン

キャビネットを削除します。キャビネットの削除は、ドロアが存在している状態では削除できません。

## 8.2. キャビネットを作成する

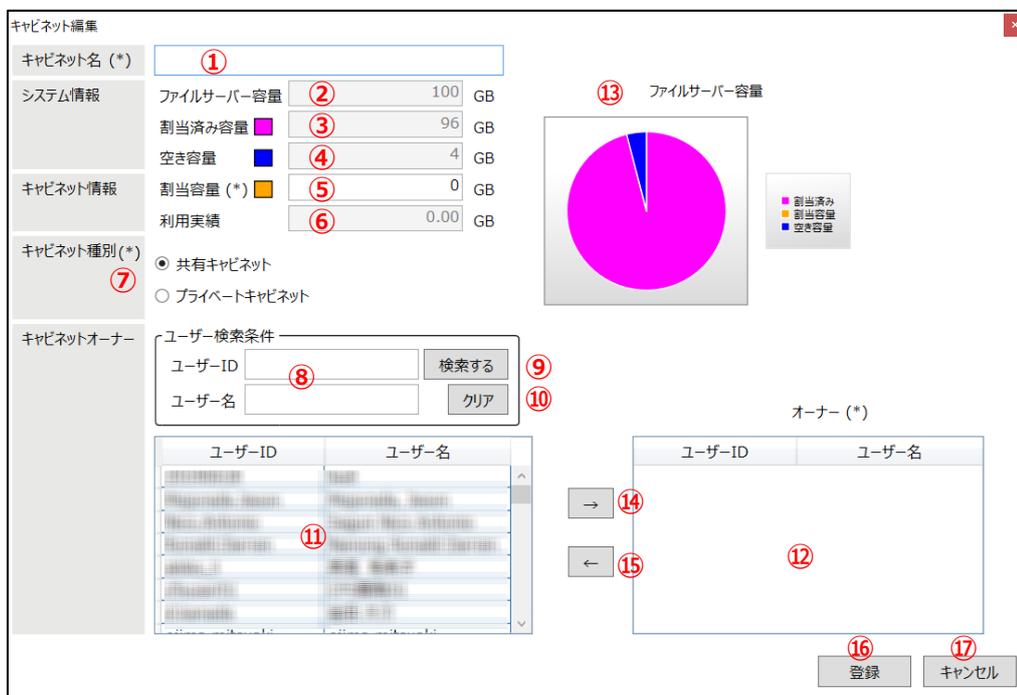
- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【サービス】-【キャビネット管理】の順番でクリックします。



- (2) 現在作成されているキャビネットの一覧が表示されます。【キャビネットを新規に作成する】ボタンをクリックします。



- (3) キャビネット編集画面が表示されます。画面上の(\*)は必須入力項目を示します。



## ① キャビネット名

キャビネット名を入力します。文字数や使用する文字の種別には制限はありません。

<ネットワークドライブ対応オプションサービスご利用の場合>

ネットワークドライブでは、次の対象文字が含まれるキャビネット名は表示されません。ネットワークドライブをご利用の場合は事前に下記の文字が含まれていないかご確認ください。含まれている場合は別の文字へ置き換えてご利用ください。

<キャビネット名における禁止文字>

禁止文字	読み方
¥	エンマーク
/	スラッシュ
:	コロン
*	アスタリスク
?	クエスチョンマーク
"	ダブルクォーテーション
<	小なり
>	大なり
	バーティカルバー
.	ピリオド ※末尾には使えません
環境依存文字	環境依存文字（絵文字） 例) (株) ☺ など

## ② ファイルサーバー容量

ファイルサーバーの容量を表示します。システム管理の「ファイルサーバー容量」で設定した値が表示されます。

「⑤割当容量」を入力するとリアルタイムに更新されます。

## ③ 割当済み容量

ファイルサーバー容量の範囲で、既にキャビネットに割当てられている容量を表示します。「⑤割当容量」を入力するとリアルタイムに更新されます。

## ④ 空き容量

ファイルサーバーの空き容量を表示します。

## ⑤ 割当容量

キャビネットに割当て容量を入力します。「④空き容量」の範囲内で入力します。「④空き容量」以上の値は入力できません。「④空き容量」以上の容量が必要な場合は、システム管理の「ファイルサーバー容量」を増やすことで対応できます。

キャビネットに割当て容量は、1 ギガバイトから 1 ギガバイト単位で入力できます。

## ⑥ 利用実績

キャビネットの利用容量の実績を表示します。作成時は 0 が表示されます。

## ⑦ キャビネット種別

複数人で共有するキャビネットは、【共有キャビネット】を選択します。個人で利用するキャビネットの場合は、【プライベートキャビネット】を選択します。

## ⑧ ユーザーID/ユーザー名 (ユーザー検索条件)

キャビネットオーナー候補のユーザーIDとユーザー名を表示します。本画面を開いた時にファイルサーバーに登録されているユーザーがすべて表示されます。その中からキャビネットオーナーを設定します。表示するユーザーを絞り込みたい場合は、「⑨【検索】ボタン」で検索することができます。

## ⑨ 「検索する」ボタン

「⑧ユーザーID/ユーザー名」で検索する時にクリックします。

## ⑩ 「クリア」ボタン

キャビネットオーナー検索条件に入力した「⑧ユーザーID/ユーザー名」を空白にクリアします。

## ⑪ ユーザーID/ユーザー名 (ユーザー検索結果)

キャビネットオーナー候補のユーザーIDとユーザー名を表示します。本画面を開いた時にファイルサーバーに登録されている全ユーザーを初期表示します。その中からキャビネットオーナーを設定します。また、表示するユーザーを絞り込みたい場合は、「⑧ユーザーID/パスワード (ユーザー検索条件)」と「⑨【検索する】ボタン」で検索してください。

## ⑫ ユーザーID/ユーザー名 (キャビネットオーナー)

キャビネットオーナーに選定されたユーザーを表示します。⑪のキャビネットオーナー候補からキャビネットオーナーを選択して、【→】をクリックします。キャビネットオーナーから外す時は、該当ユーザーを選択して【←】をクリックしてください。キャビネットオーナーは、1 ユーザー以上を設定できます。

- ⑬ ファイルサーバー容量（円グラフ）  
「②ファイルサーバー容量」、「③割当済み容量」、「④空き容量」を円グラフで表示します。表示は「⑤割当容量」を入力するとリアルタイムに更新されます。
- ⑭ 「→」ボタン  
ユーザーを選択し、キャビネットオーナーに指定する際にクリックします。
- ⑮ 「←」ボタン  
キャビネットオーナーを選択し、キャビネットオーナーから削除する際にクリックします。
- ⑯ 「登録」ボタン  
キャビネット名、キャビネットの割当容量、キャビネット種別、キャビネットオーナーを登録します。
- ⑰ 「キャンセル」ボタン  
データを保存せず画面を閉じる際にクリックします。

- (4) 【キャビネット割当容量】の入力、【オーナー】の指定を行い、【登録】をクリックします。

キャビネット編集

キャビネット名 (\*) 共有キャビネット

システム情報

ファイルサーバー容量	100	GB
割当済み容量	96	GB
空き容量	2	GB
割当容量 (*)	2	GB
利用実績	0.00	GB

キャビネット情報

キャビネット種別 (\*)

共有キャビネット  
 プライベートキャビネット

キャビネットオーナー

ユーザー検索条件

ユーザーID  検索する  
ユーザー名  クリア

ユーザーID	ユーザー名
Administrator	管理者
...	...

ファイルサーバー容量

円グラフ: 割当済み (96GB), 空き容量 (2GB), 割当容量 (2GB)

オーナー (\*)

ユーザーID	ユーザー名
manager	管理者

登録 キャンセル

- (5) 登録確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。

登録確認

この情報でキャビネットを登録しますか?

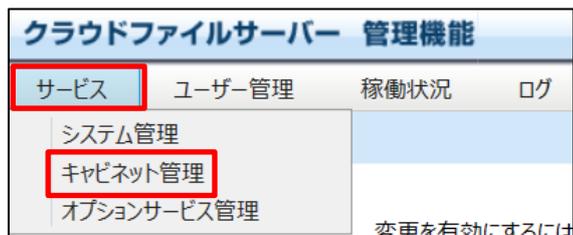
はい(Y) いいえ(N)

### 8.3. キャビネット情報を変更する

キャビネットに対して、次のような変更操作を行うことができます。

- ・ キャビネット名の変更
- ・ キャビネット割当容量の変更
- ・ キャビネットオーナーの変更

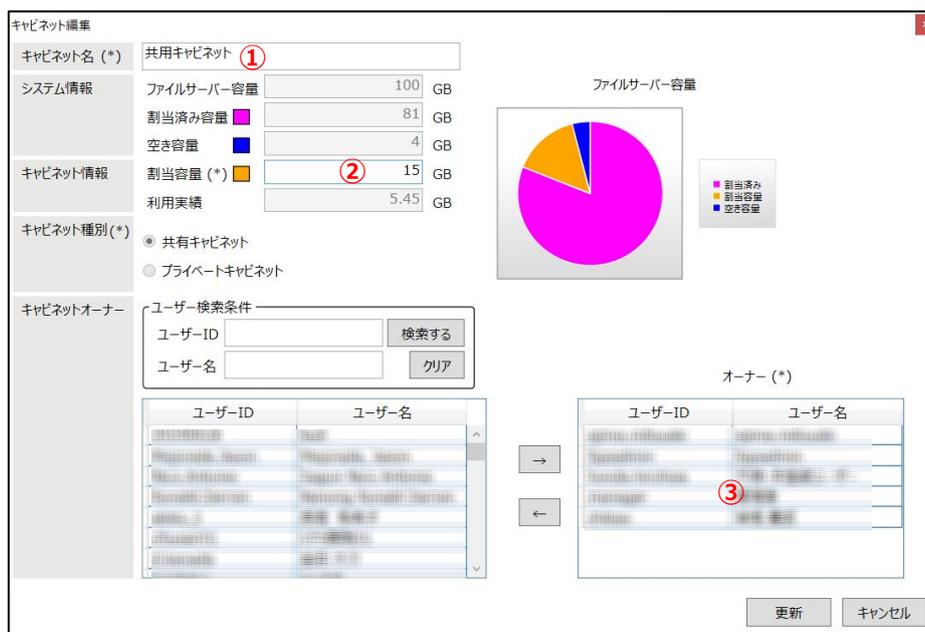
(1) 操作メニュー表示選択エリアから【サービス】-【キャビネット管理】の順番でクリックします。



(2) キャビネット一覧が表示されます。変更するキャビネットの【更新】をクリックします。



(3) キャビネットの編集画面が表示されます。更新できる項目は次のとおりです。



## ① キャビネット名

キャビネット名を変更します。文字数と使用する文字の種別には制限はありません。

## ② 割当容量

キャビネットの容量を変更します。「空き容量」の範囲内で入力してください。「利用実績」未満には変更できません。また、「空き容量」以上の値は入力できません。「空き容量」以上の容量が必要な場合は、システム管理の「ファイルサーバー容量」を増やすことで対応できます。

## ③ ユーザーID/ユーザー名（キャビネットオーナー）

新たにキャビネットオーナーに指定されたユーザーを表示します。①のキャビネットオーナー候補からキャビネットオーナーを選択して、【→】をクリックします。キャビネットオーナーから外す場合は、該当ユーザーを選択して【←】をクリックしてください。キャビネットオーナーは、1 ユーザー以上を設定できます。

## (4) 必要な情報を変更して【更新】をクリックします。

キャビネット編集

キャビネット名 (\*) 共用キャビネット

システム情報

ファイルサーバー容量	100	GB
割当済み容量	81	GB
空き容量	4	GB

キャビネット情報

割当容量 (*)	15	GB
利用実績	5.45	GB

キャビネット種別 (\*)

共有キャビネット  
 プライベートキャビネット

キャビネットオーナー

ユーザー検索条件

ユーザーID  検索する

ユーザー名  クリア

ファイルサーバー容量

オーナー (\*)

ユーザーID	ユーザー名
admin	システム管理者
...	...

更新 キャンセル

## (5) 更新確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。

変更確認

この情報でキャビネットを変更しますか？

はい(Y) いいえ(N)

## 8.4. キャビネットを削除する

キャビネットを削除します。キャビネットの削除は、該当キャビネットにドローアが存在している時は行うことはできません。全てのドローアを削除してから削除します。

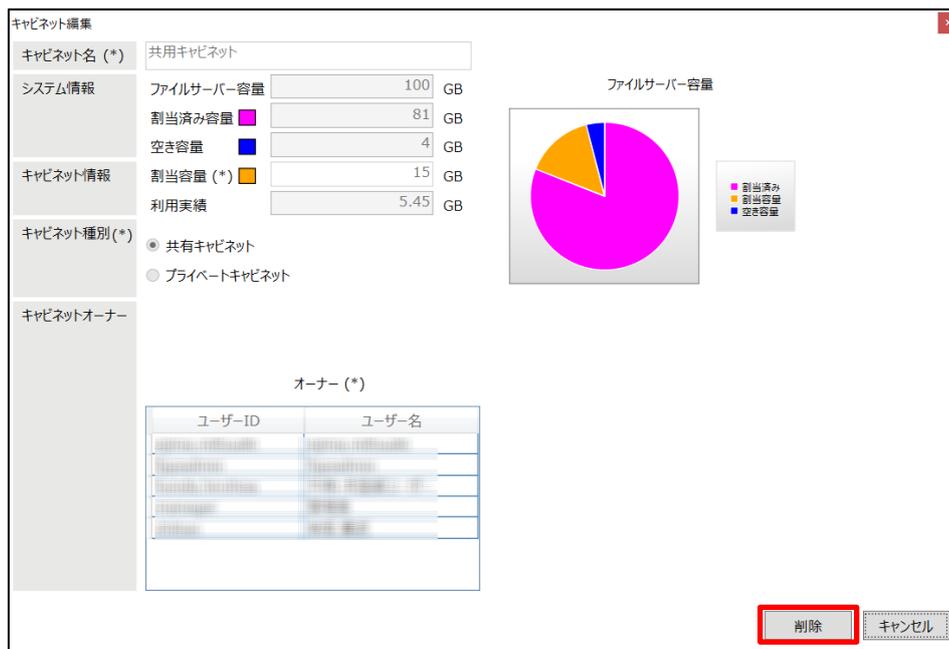
- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【サービス】-【キャビネット管理】の順番でクリックします。



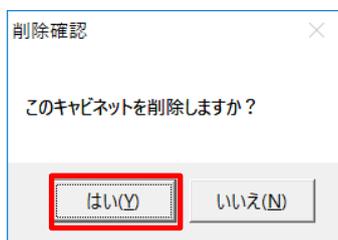
- (2) キャビネット一覧が表示されます。削除するキャビネットの【削除】をクリックすると、キャビネット編集画面が表示され、キャビネットの削除が行えます。



- (3) 【削除】をクリックします。【キャンセル】をクリックすると削除をキャンセルします。

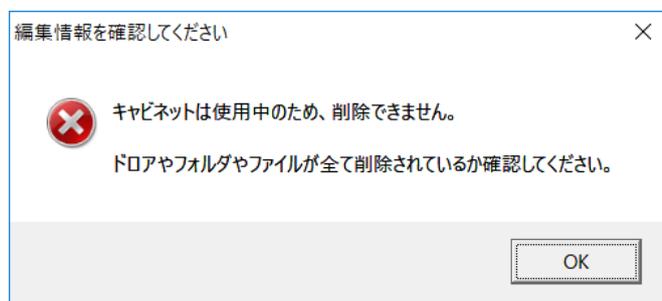


- (4) 削除確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。



<注意！>

- キャビネット内にドロアやフォルダやファイルが存在する場合は、以下の「編集情報を確認してください」が表示され、キャビネットは削除できません。すべてのドロアを削除してから、キャビネットの削除を行ってください。



## 9. ユーザーを管理する

本章では、ユーザー管理の操作について説明します。

ユーザー管理では、次のような操作を行うことができます。

- ・ ユーザーを新規に登録する
- ・ ユーザー情報を表示する
- ・ ユーザーを一括登録する
- ・ ユーザー情報を変更する
- ・ ユーザーを削除する
- ・ ユーザーを検索する

### 9.1. ユーザーを新規に登録する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【ユーザー管理】-【編集】の順番でクリックします。



- (2) ユーザー一覧画面が表示されます。

【新規にユーザーを登録する】をクリックします。なお、システム管理の「ファイルサーバーユーザー数」で設定したユーザー数を超過して登録することはできません。

クラウドファイルサーバー 管理機能

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ

サービス仕様 ツール ヘルプ

ユーザー編集

新規にユーザーを登録する

ユーザー検索条件

ユーザーID

ユーザー名

所属

検索対象  全件  有効  無効

ユーザーID	ユーザー名	有効期限	パスワード変更日	所属	2段階認証	更新	削除
						更新	削除
					有効	更新	削除
					有効	更新	削除

- (3) 新規ユーザー追加の画面が表示されます。この画面でユーザー情報を登録します。  
ユーザー情報編集画面の(\*)表示は、必須の入力項目であることを示します。

① ユーザーID

ユーザーIDを入力します。半角4文字以上64文字以内で設定します。英数字記号が使えます。  
※ユーザーIDに0000（予約語）は指定できません。

② 「有効なIDか確認」ボタン

入力したユーザーIDが有効か否かをチェックするため、「有効なIDか確認」をクリックします。

③ ユーザー名

ユーザー名を入力します。全角半角と英数字記号が使えます。文字数制限はありません。

④ パスワード

パスワードを入力します。半角8文字以上32文字以下で入力してください。パスワードに使えるのは、全ての英字と数字および記号です。大文字と小文字は区別されます。パスワードの組み合わせ文字はシステム管理の設定により異なり、以下の入力となります。

パターン1が設定されている場合	パターン2が設定されている場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英字と数字</li> <li>・ 英字と記号</li> <li>・ 数字と記号</li> <li>・ 英字と数字と記号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英字と数字と記号</li> </ul>

## ⑤ パスワード確認

確認のため、「④パスワード」で入力した再度入力します。

## ⑥ 管理権限

管理機能の権限を付与するか否かを設定します。付与する場合は【あり】、付与しない場合は【なし】をクリックします。付与されるとファイルサーバー管理者として管理機能が利用できます。

## ⑦ 有効期限

ユーザーIDの有効期限を設定します。当日以降で設定します。過去日は設定できません。デフォルトの有効期限は無期限（2999年12月31日までが有効期限）です。有効期限に日付を設定する場合は、無制限のチェックボックスのチェックを外して、カレンダーをクリックし、設定します。

**<注意！>**

- 有効期限のタイムゾーンはグリニッジ標準時（GMT）となるため、実際に有効期限に達するのは設定日の9時間後となる、翌日の午前9時です。

例) 有効期限を3月31日に設定した場合、アカウントが無効になるのは4月1日の午前9時です。

## ⑧ ユーザー区分

役員、社員、嘱託、派遣、社外などユーザー区分をリストボックスから選択します。キャビネットオーナーがキャビネットへのアクセス許可リストを作成する際の検索条件として活用できます。

## ⑨ アカウントロック

ユーザーのログイン失敗がシステム管理で設定したアカウントロック回数に達した時に該当ユーザーIDはアカウントロックされます。アカウントロックされると自動的に「レ」マークが設定されます。アカウントロック回数に達しなくてもユーザーのログインをさせたくない場合に、「レ」マークを設定することができます。アカウントロックは、「レ」マークを削除することで解除できます。

## ⑩ 所属

ユーザーの所属を入力します。全角半角と英数字記号が使えます。文字数制限はありません。

## ⑪ 電話番号

ユーザーの連絡先電話番号を入力します。

## ⑫ e-mail アドレス

ユーザーの e-mail アドレスを入力します。

## ⑬ MAC アドレス

パソコンの MAC アドレスを入力します。最大 5 つの MAC アドレスを入力できます。XX-XX-XX-XX-XX-XX (半角英数字 2 桁- (ハイフン) 半角英数字 2 桁- (ハイフン) 半角英数字 2 桁・・・ -(ハイフン) 含めた合計 17 桁) のフォーマットで入力します。

システム管理の「MAC アドレス制限」で「利用する」に設定すると、ここで入力した MAC アドレスによるアクセスが有効となります。

なお、「MAC アドレス制限 (特定ユーザー)」の「ID と紐付ける」がオフ (初期設定) の場合、ユーザー ID と MAC アドレスはリンクしません。

## ⑭ メモ

メモ欄として利用します。

## ⑮ 2 段階認証「有効」解除ボタン

2 段階認証が有効の時に活性表示され、その場合に管理者側で 2 段階認証を無効化することが可能です。

## ⑯ 「保存」ボタン

入力したユーザー情報を保存します。

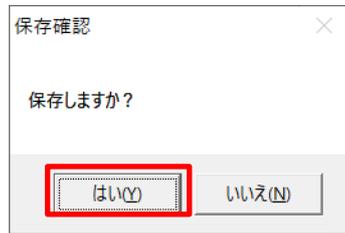
## ⑰ 「キャンセル」ボタン

保存せずに画面を閉じます。

## (4) 【保存】をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled "新規ユーザー追加" (Add New User). It contains several input fields and checkboxes for user configuration. The fields include: "ユーザーID(\*)" (User ID) with "soumuser@toky" and a "有効なIDか確認" (Check if valid ID) button; "ユーザー名(\*)" (User Name) with "総務部 山田"; "パスワード(\*)" (Password) and "パスワード確認(\*)" (Confirm Password) both with "\*\*\*\*\*"; "管理権限(\*)" (Management Rights) with radio buttons for "なし" (None) and "あり" (Yes); "有効期限(\*)" (Valid Period) with "2019年12月20日" and a "無制限" (Unlimited) checkbox; "ユーザー区分" (User Category) with a dropdown set to "社員" (Employee) and an "アカウントロック" (Account Lock) checkbox; "所属" (Department) with "総務部"; "電話番号 1" (Phone Number 1) with "03-1234-5678"; "電話番号 2" (Phone Number 2); and "e-mailアドレス" (Email Address) with "soumuser@toky.fujitsu.co.jp". On the right side, there are five "MACアドレス" (MAC Address) fields (1-5) and three "メモ" (Memo) fields (1-3). At the bottom right, there is a "2段階認証" (Two-step authentication) checkbox labeled "有効" (Enabled). At the bottom center, the "保存" (Save) button is highlighted with a red rectangle, and the "キャンセル" (Cancel) button is to its right.

- (5) 保存確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。



- (6) ユーザー情報の登録が完了しました。【OK】をクリックします。

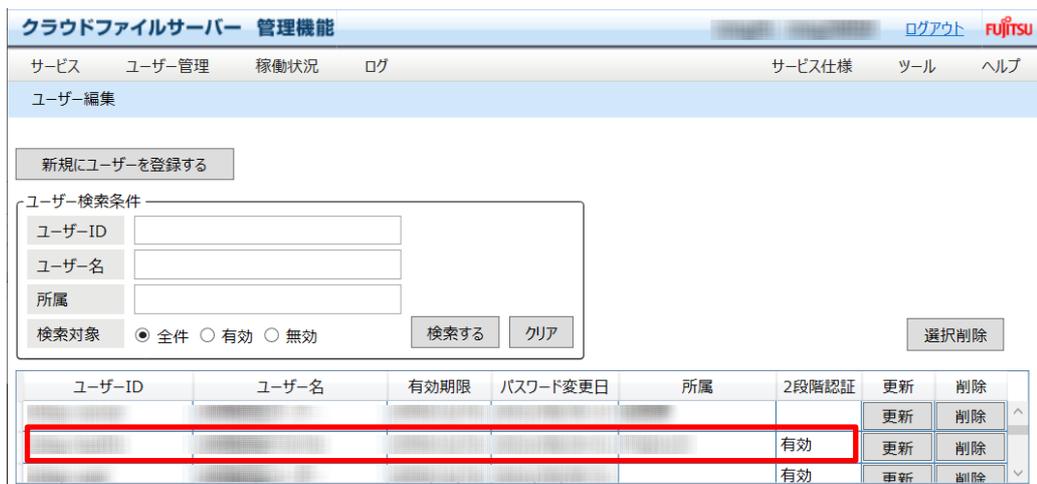


## 9.2. ユーザー情報を表示する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【ユーザー管理】-【編集】の順番でクリックします。



- (2) 表示したいユーザーをダブルクリックします。



- (3) ユーザー情報が表示されます。



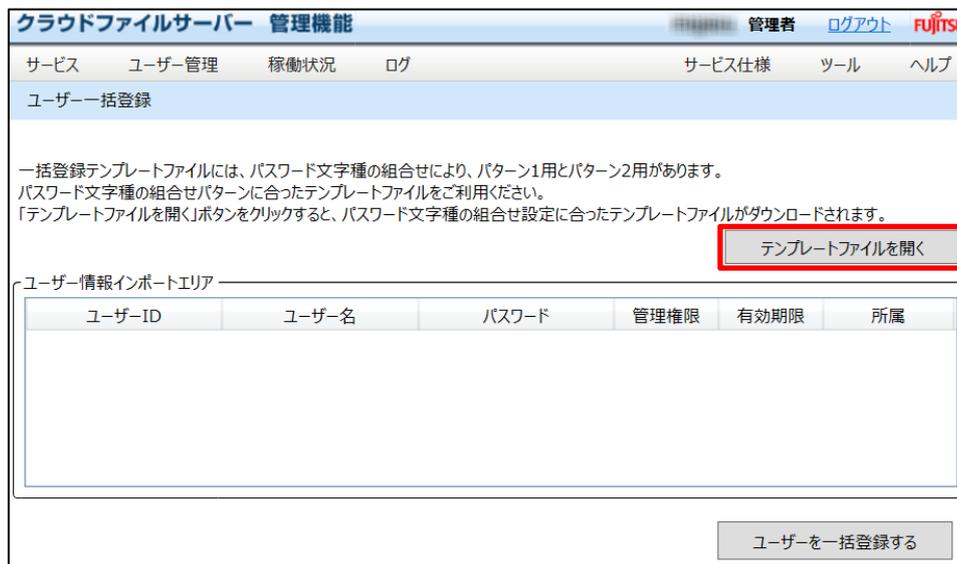
### 9.3. ユーザーを一括登録する

ユーザー登録用ファイル（Microsoft EXCEL ファイル形式）（以下、テンプレートファイル）を利用して、ユーザーを一括して登録することができます。既に登録済みのユーザーIDを一括登録するとテンプレートファイルに記載した内容で更新されます。登録されていないユーザーIDは、新規に登録されます。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【ユーザー管理】-【一括登録】の順番でクリックします。



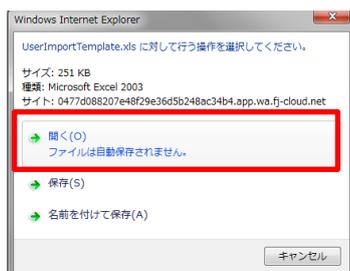
- (2) ユーザー一括登録画面が表示されます。【テンプレートファイルを開く】をクリックします。



<注意！>

- パスワード文字種の組合せの選択により、使用するテンプレートが異なります。
- パスワード文字種の組合せの選択を変更した場合は、テンプレートをダウンロードしてください。

- (3) テンプレートファイルに対する操作確認のポップアップ画面が表示された場合、【開く】をクリックします。



- (4) テンプレートファイルが表示されます。このテンプレートファイルに複数のユーザー情報を入力し、一括して登録することができます。なお、画面上の赤文字項目は必須入力を示します。



① ユーザーID

ユーザーIDを入力します。半角4文字以上64文字以下で設定します。英数字記号が使えます

② ユーザー名

ユーザー名を入力します。全角半角と英数字記号が使えます。文字数制限はありません。

③ パスワード

パスワードを入力します。半角8文字以上32文字以下で入力してください。パスワードに使えるのは、全ての英字と数字および記号です。大文字と小文字は区別されます。パスワードの組み合わせ文字はシステム管理の設定により異なり、以下の入力となります。

パターン1が設定されている場合	パターン2が設定されている場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>数字と英字</li> <li>英字と記号</li> <li>数字と記号</li> <li>数字と英字と記号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数字と英字と記号</li> </ul>

<注意！>

> 既に登録済みのユーザーを更新する際は、パスワードは更新されません。

④ 管理権限

管理機能の権限を付与するか否かを設定します。付与する場合は【あり】、付与しない場合は【なし】を選択します。

⑤ 有効期限

ユーザーIDの有効期限を設定します。YYYY-MM-DD（年4桁-（ハイフン）月2桁-（ハイフン）-日2桁）で当日以降の日付を設定します。過去日は設定できません。有効期限を無制限にする場合は、空欄（何も入力しない）にします。

<注意！>

➤ 有効期限のタイムゾーンはグリニッジ標準時（GMT）となるため、実際に有効期限に達するのは設定日の9時間後となる、翌日の午前9時です。

例) 有効期限を3月31日に設定した場合、アカウントが無効になるのは4月1日の午前9時です。

⑥ 所属

ユーザーの所属を入力します。全角半角と英数字記号が使えます。文字数制限はありません。

⑦ ユーザー区分

役員、社員、嘱託、派遣、社外などのユーザー区分をリストボックスから選択します。キャビネットオーナーがキャビネットへのアクセス許可リストを作成する際の検索条件として活用できます。

⑧ 電話番号

ユーザーの連絡先電話番号を入力します。

⑨ e-mail アドレス

ユーザーの e-mail アドレスを入力します。

⑩ メモ

メモ欄として利用します。

⑪ MAC アドレス

パソコンの MAC アドレスを入力します。最大 5 つの MAC アドレスを入力できます。XX-XX-XX-XX-XX-XX（半角英数字 2 桁-（ハイフン）半角英数字 2 桁-（ハイフン）半角英数字 2 桁・・・ハイフン含めた合計 17 桁）のフォーマットで入力します。

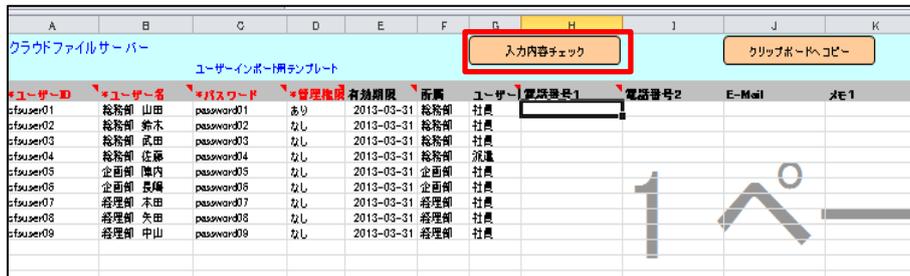
システム管理の「MAC アドレス制限」で「利用する」に設定すると、ここで入力した MAC アドレスによるアクセスが有効となります。

なお、「MAC アドレス制限（特定ユーザー）」の「ID と紐付ける」がオフ（初期設定）の場合、ユーザー ID と MAC アドレスはリンクしません。

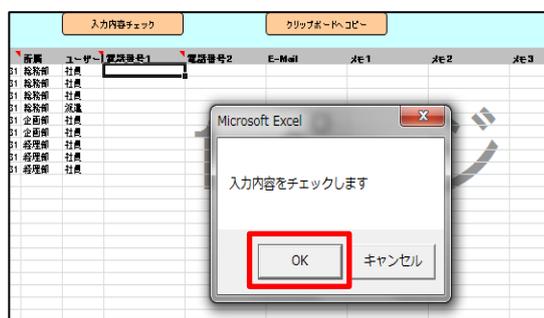
<注意！>

➤ 一括登録時に指定する MAC アドレスは追加のみとなります。また、登録済みの MAC アドレスを含めて 5 個を超える場合はエラーとなり、一括登録処理はキャンセルされます。登録済みの MAC アドレスを含めて 5 個以内にされるか、不要な MAC アドレスを、「ユーザー編集」から事前に削除し、再度、一括登録を行ってください。

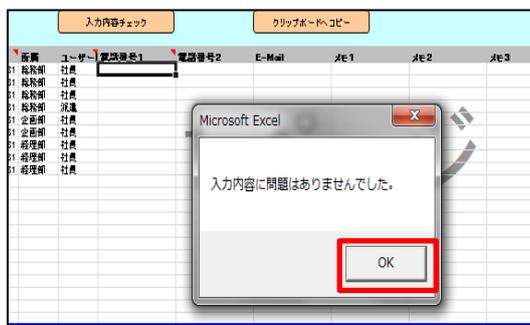
- (5) テンプレートファイルにユーザー情報を入力し終わったら【入力内容チェック】をクリックします。



- (6) 入力チェックのポップアップ画面が表示されます。



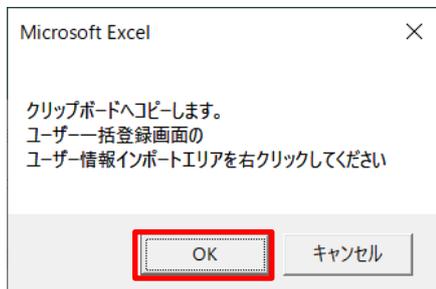
- (7) チェック結果のポップアップ画面が表示されます。入力内容に不備が発見された場合は、その旨のエラーポップアップ画面が表示されます。また、該当項目の背景色が赤色で表示されます。



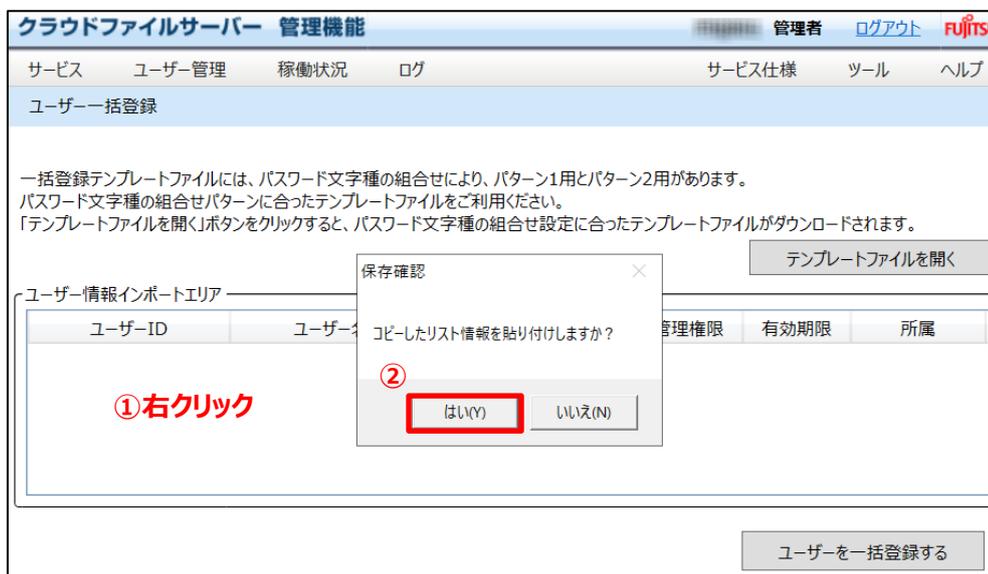
- (8) 入力内容チェックに問題なければ、【クリップボードへコピー】をクリックします。



- (9) 確認ポップアップ画面が表示されます。



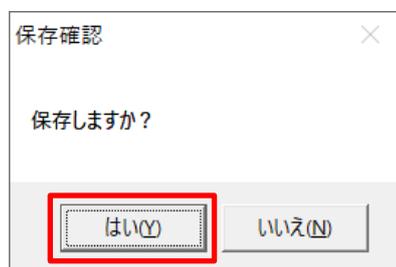
- (10) ユーザー一括登録画面の「ユーザー情報インポートエリア」で、マウスの【右ボタンをクリック】します。確認のポップアップ画面が表示されます。



- (11) インポート用テンプレートに入力したユーザー情報がコピーされました。【ユーザーを一括登録する】をクリックします。



- (12) 確認ポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。



- (13) 一括登録完了ポップアップ画面が表示されます。【OK】をクリックします。



## 9.4. ユーザー情報を変更する

ユーザー情報は、ユーザーID 以外の全ての項目を変更できます。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【ユーザー管理】-【編集】の順番でクリックします。



- (2) ユーザー一覧画面が表示されます。該当ユーザーの【更新】をクリックします。



- (3) ユーザー情報編集画面が表示されます。画面上の(\*)は必須入力項目を示します。

ユーザー情報編集

ユーザーID(\*) manager ①

ユーザー名(\*) 管理者 ②

パスワード ③

パスワード確認 ④

管理権限(\*) なし あり ⑤

有効期限(\*) 2019年 ⑥月20日 ⑧ 無制限

ユーザー区分 ⑦ アカウントロック ⑧

所属 管理者 ⑨

電話番号1 ⑩

電話番号2 ⑩

e-mailアドレス ⑪

MACアドレス1 ⑫

MACアドレス2

MACアドレス3 ⑫

MACアドレス4

MACアドレス5

ME1 ⑬

ME2 ⑬

ME3 ⑬

2段階認証 ⑭ 有効

⑮ 保存 ⑯ キャンセル

## ① ユーザーID

ユーザーID が表示されます。変更することはできません。

## ② ユーザー名

ユーザー名を変更することができます。

## ③ パスワード

新しいパスワードに変更することができます。現在のパスワードは表示されません。パスワードは、半角 8 文字以上 32 文字以下で入力してください。パスワードに使えるのは、全ての英字と数字および記号です。大文字と小文字は区別されます。パスワードの組み合わせ文字はシステム管理の設定により異なり、以下の入力となります。

パターン 1 が設定されている場合	パターン 2 が設定されている場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英字と数字</li> <li>・ 英字と記号</li> <li>・ 数字と記号</li> <li>・ 英字と数字と記号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英字と数字と記号</li> </ul>

## ④ パスワード確認

新しいパスワードに変更した場合は、確認のため、「③パスワード」で入力した再度入力します。

## ⑤ 管理権限

管理機能権限の有無を変更することができます。付与する場合は【あり】、付与しない場合は【なし】をクリックします。

## ⑥ 有効期限

ユーザーID の有効期限を変更することができます。当日以降で設定します。過去日は設定できません。無期限から日付指定による有期限にする場合は、無制限のチェックボックスのチェックを外し、カレンダーをクリックして設定します。無期限にする場合は、無制限のチェックボックスをチェックします。

<注意！>

- > 有効期限のタイムゾーンはグリニッジ標準時（GMT）となるため、実際に有効期限に達するのは設定日の 9 時間後となる、翌日の午前 9 時です。

例) 有効期限を 3 月 31 日に設定した場合、アカウントが無効になるのは 4 月 1 日の午前 9 時です。

- ⑦ ユーザー区分  
ユーザー区分を変更することができます。役員、社員、嘱託、派遣、社外などのユーザー区分をリストボックスから選択します。キャビネットオーナーがキャビネットへのアクセス許可リストを作成する際の検索条件として活用できます。
- ⑧ アカウントロック  
ユーザーID のアカウントロックを解除することができます。逆に、アカウントロックすることもできます。ロックする場合は、「レ」マークを付与します。ロックを解除する場合は、「レ」を削除します。
- ⑨ 所属  
ユーザーの所属を変更することができます。
- ⑩ 電話番号  
ユーザーの連絡先電話番号を変更することができます。
- ⑪ e-mail アドレス  
ユーザーの e-mail アドレスを変更することができます。
- ⑫ MAC アドレス  
パソコンの MAC アドレスを変更することができます。また、削除することもできます。削除する場合は、該当 MAC アドレスを [Del] キーで削除します。システム管理で「MAC アドレス制限」が「利用する」になっている場合は、削除された MAC アドレスのパソコンからはログインできなくなります。
- ⑬ メモ  
メモ欄を変更することができます。
- ⑭ 2 段階認証「有効」解除ボタン  
2 段階認証が有効となっている場合に、管理者側で 2 段階認証を無効化することが可能です。「レ」マークを削除（チェックボックスを外）します。
- ⑮ 「保存」ボタン  
ユーザー情報を更新します。
- ⑯ 「キャンセル」ボタン  
ユーザー情報の更新をキャンセルします。

- (4) 【保存】をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled 'ユーザー情報編集' (Edit User Information). It contains various input fields for user details. The '保存' (Save) button at the bottom center is highlighted with a red rectangle. Other buttons include 'キャンセル' (Cancel) at the bottom right.

ユーザーID(*)	manager	MACアドレス 1	
ユーザー名(*)	管理者	MACアドレス 2	
パスワード		MACアドレス 3	
パスワード確認		MACアドレス 4	
管理権限(*)	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	MACアドレス 5	
有効期限(*)	2019年12月20日 <input checked="" type="checkbox"/> 無制限	メモ 1	
ユーザー区分	<input type="checkbox"/> アカウントロック	メモ 2	
所属	管理者	メモ 3	
電話番号 1		2段階認証	<input type="checkbox"/> 有効
電話番号 2			
e-mailアドレス			

- (5) 保存確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。

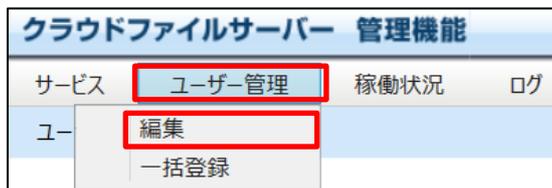
The screenshot shows a dialog box titled '保存確認' (Save Confirmation). It asks '保存しますか?' (Do you want to save?). The 'はい(Y)' (Yes) button is highlighted with a red rectangle. The 'いいえ(N)' (No) button is also visible.

- (6) ユーザー情報の変更が完了しました。【OK】をクリックします。

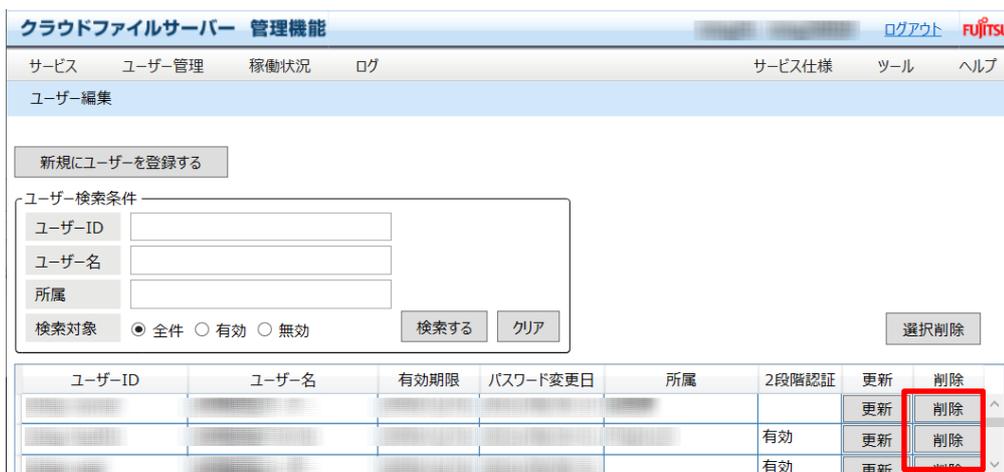
The screenshot shows a dialog box titled '保存しました' (Saved). It displays the message '保存しました。' (Saved). The 'OK' button is highlighted with a red rectangle.

## 9.5. ユーザーを削除する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【ユーザー管理】-【編集】の順番でクリックします。



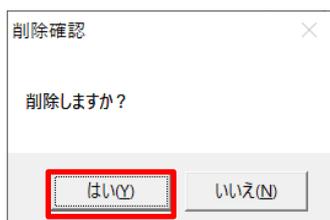
- (2) ユーザー一覧画面が表示されます。該当ユーザーの【削除】をクリックします。



- (3) ユーザー削除画面が表示されます。【削除】をクリックします。



- (4) 削除確認のポップアップ画面が表示されます。【はい】をクリックします。



## 9.6. ユーザーを検索する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアから【ユーザー管理】-【編集】の順番でクリックします。



- (2) ユーザー一覧画面が表示されます。ユーザー検索条件に指定してユーザーを検索することができます。検索条件を複数指定した場合は、かつ (AND) 条件で検索されます。

ユーザーID	ユーザー名	有効期限	パスワード変更日	所属	2段階認証	更新	削除
						更新	削除
					有効	更新	削除
					有効	更新	削除

- ① ユーザーID  
検索対象のユーザーIDを指定します。検索は、完全一致、前方一致で行うことができます。
- ② ユーザー名  
検索対象のユーザー名を指定します。検索は、完全一致、前方一致で行います。
- ③ 所属  
検索対象の所属を指定します。検索は、完全一致、前方一致で行います。
- ④ 検索対象  
ファイルサーバーに登録されている全てのユーザーを検索の対象とする場合は【全件】、有効期限内のユーザーを検索の対象にする場合は【有効】、有効期限を過ぎているユーザーを検索の対象にする場合は【無効】を選択します。

- ⑤ 「検索する」ボタン  
ユーザーを検索します。

- ⑥ 「クリア」ボタン  
検索条件をクリアします。

- (3) 条件を指定して、【検索】をクリックします。検索条件を指定せずに【検索】をクリックすると全てのユーザーが表示されます。【クリア】をクリックすると指定した検索条件がクリアされます。

The screenshot shows the 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management) interface. The 'ユーザー-編集' (User Edit) section is active. Under 'ユーザー-検索条件' (User Search Conditions), the 'ユーザー-ID' (User ID) field contains 'manager'. The '検索対象' (Search Target) is set to '全件' (All). The '検索する' (Search) button is highlighted with a red box. Below the search form is a table of users.

ユーザー-ID	ユーザー名	有効期限	パスワード変更日	所属	2段階認証	更新	削除
						更新	削除
					有効	更新	削除
					有効	更新	削除

- (4) 検索結果が表示されます。

The screenshot shows the same interface as above, but the search results are displayed in the table. The 'ユーザー-ID' field in the search criteria is still 'manager'. The '検索する' button is now dashed. The table shows one result for the user 'manager'.

ユーザー-ID	ユーザー名	有効期限	パスワード変更日	所属	2段階認証	更新	削除
manager	管理者	2999/12/31	2021/07/14 8:5			更新	削除

## 10. ファイルサーバーの稼働状況を照会する

本章では、ファイルサーバーの稼働状況の照会に関する操作方法について説明します。

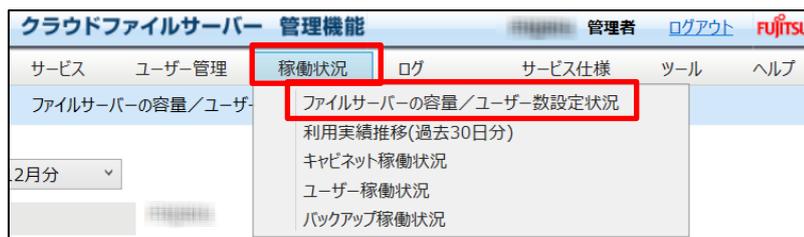
ファイルサーバーの稼働状況について、次のような情報を照会することができます。

- ・ ファイルサーバーに設定されている容量とユーザー数、バックアップ保持世代数（オプションご利用時）の照会
- ・ ファイルサーバーの割当容量と利用実績の照会
- ・ キャビネット毎の割当容量と利用実績の照会
- ・ ユーザー区分毎の登録ユーザー数とファイルサーバーの利用実績の照会

### 10.1. ファイルサーバーに設定されている容量とユーザー数を照会する

ファイルサーバーの容量とユーザー数の設定状況を照会できます。当月を含めた過去1年分（月毎）を照会できます。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【稼働状況】-【ファイルサーバーの容量/ユーザー数設定状況】の順番でクリックします。



- (2) ファイルサーバーの容量とユーザー数、バックアップ保持世代数（オプションご利用時）が表示されます。

項目	値
法人名	XXXXXXXXXX
ファイルサーバー容量	100 GB
ファイルサーバーユーザー数	150 人
バックアップ保持世代数	3 世代

・上記の「ファイルサーバー容量」および「ファイルサーバーユーザー数」は管理権限のあるユーザーが設定した当該月の最大値（※）です。  
 ・月々の基本料金は、上記の「ファイルサーバー容量」および「ファイルサーバーユーザー数」に基づき算出します。  
 ・上記の「バックアップ保持世代数」は、管理権限のあるユーザーが設定した当該月の最大値（※）です。  
 ※最大値とは、1ヶ月の1日～末日の間に設定された最も大きい設定値となります。末日時点の設定値ではありません。

- ① 過去情報照会リストボックス  
過去月の設定状況を照会できます。当月含めて 1 年分を照会できます。
  
- ② 法人名  
システム管理で登録した法人名が表示されます。
  
- ③ ファイルサーバー容量  
システム管理で設定したファイルサーバーの容量が表示されます。
  
- ④ ファイルサーバーユーザー数  
システム管理で設定したファイルサーバーのユーザー数が表示されます。
  
- ⑤ バックアップ保持世代数  
オプションサービス管理で、バックアップオプションを「利用する」に設定した場合、保持世代数が表示されます。

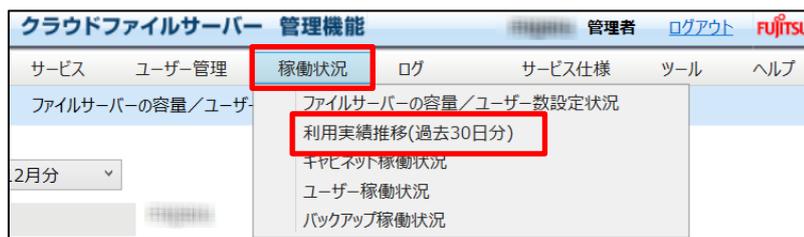
## 10.2. ファイルサーバーの利用容量実績の推移を照会する

当日含めて過去 30 日分のファイルサーバーの容量に関する情報を折れ線グラフで照会できます。

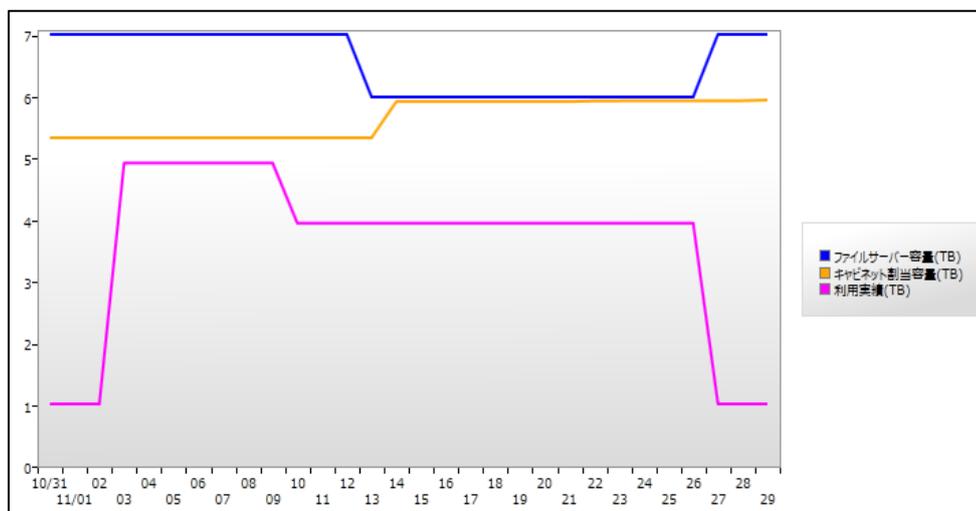
次のような情報が折れ線グラフで表示されます。

- ・ ファイルサーバーの設定容量
- ・ ファイルサーバーの設定容量のうちキャビネットへ割当済み容量
- ・ ファイルサーバー容量の利用実績

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【稼働状況】-【利用実績推移（過去 30 日分）】の順番でクリックします。



- (2) 利用実績推移が折れ線グラフで表示されます。縦軸は容量 (TB)、横軸は日付で過去 30 日分の推移を表示します。



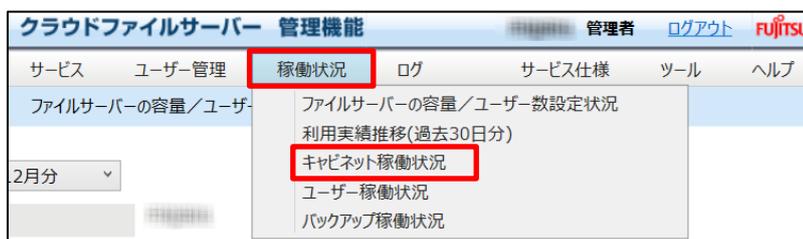
### 10.3. キャビネットの稼働状況を照会する

昨日時点でのキャビネット毎の情報を一覧で照会できます。照会できる情報は次のとおりです。

- ・ キャビネットの割当済み容量
- ・ キャビネット容量の利用実績
- ・ キャビネットに作成されているドドアの数（サブドドア含む）
- ・ キャビネットに作成されているファイルの数

また、上記情報の過去 30 日分を日毎に照会することもできます。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【稼働状況】-【キャビネット稼働状況】の順番でクリックします。



- (2) キャビネット稼働状況が表示されます。

① キャビネット名	② 割当容量	③ 利用実績	④ ドドア数	⑤ ファイル数
...	11 GB	4.44 GB	6	5,209
...	1 GB	0.01 GB	5	5
...	12 GB	9.25 GB	2	8,541
...	1 GB	0.00 GB	0	0
...	10 GB	8.16 GB	7	1,434
...	30 GB	14.44 GB	3	19,929
...	1 GB	0.01 GB	1	3
...	15 GB	1.57 GB	7	1,019
...	15 GB	5.46 GB	17	42

- ① キャビネット名  
ファイルサーバーに作成されているキャビネット名を表示します。
- ② 割当容量  
キャビネットへの割当済み容量を表示します。

③ 利用実績

キャビネットの利用容量の実績を表示します。

④ ドロア数

キャビネットに作成済みのドロアとサブドロアの合計を表示します。

⑤ ファイル数

キャビネットに保存されているファイルの数を表示します。

(3) 毎日の利用実績等を照会したい場合は、該当キャビネット行を、ダブルクリックします。

キャビネット名	割当容量	利用実績	ドロア数	ファイル数
共用キャビネット	11 GB	4.44 GB	6	5,209
...	1 GB	0.01 GB	5	5
...	12 GB	9.25 GB	2	8,541
...	1 GB	0.00 GB	0	0
...	10 GB	8.16 GB	7	1,434
...	30 GB	14.44 GB	3	19,929
...	1 GB	0.01 GB	1	3
...	15 GB	1.57 GB	7	1,019
共用キャビネット	15 GB	5.46 GB	17	42

(4) 当日を含む過去 30 日分の利用実績等が表示されます。

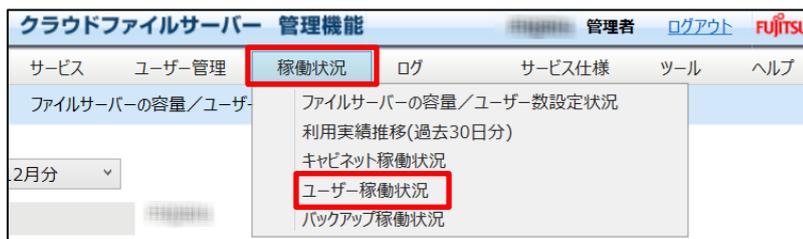
日付	割当容量	利用実績	ドロア数	ファイル数
2019-12-23	15 GB	5.46 GB	17	42
2019-12-22	15 GB	5.46 GB	17	42
2019-12-21	15 GB	5.46 GB	17	51
2019-12-20	15 GB	5.46 GB	17	57
2019-12-19	15 GB	5.46 GB	17	57
2019-12-18	15 GB	5.46 GB	17	57
2019-12-17	15 GB	5.46 GB	17	57
2019-12-16	15 GB	5.46 GB	17	57
2019-12-15	15 GB	5.51 GB	17	58
2019-12-14	15 GB	5.51 GB	17	58
2019-12-13	15 GB	5.51 GB	17	58
2019-12-12	15 GB	5.51 GB	17	58
2019-12-11	15 GB	5.51 GB	17	41

## 10.4. ユーザーの稼働状況を照会する

昨日時点でのユーザーの稼働状況を照会できます。当日含めて過去 30 日分を日毎に照会できます。次の情報をユーザー区分毎に照会できます。

- ・ ファイルサーバーに登録されているユーザー数
- ・ ファイルサーバーを利用したユーザーID の数（利用実績）

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【稼働状況】-【ユーザー稼働状況】の順番でクリックします。



- (2) ユーザー稼働状況が表示されます。

クラウドファイルサーバー 管理機能																		
稼働状況											利用人数							
日付	合計	指定なし	役員	社員	嘱託	派遣	パート	社外	その他	合計	指定なし	役員	社員	嘱託	派遣	パート	社外	その他
2019/12/23	69	64	0	3	0	0	0	1	1	7	7	0	0	0	0	0	0	0
2019/12/22	69	64	0	3	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
2019/12/21	69	64	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019/12/20	69	64	0	3	0	0	0	1	1	6	5	0	0	0	0	0	0	1
2019/12/19	67	63	0	2	0	0	0	1	1	8	6	0	0	0	0	0	1	1
2019/12/18	67	63	0	2	0	0	0	1	1	10	8	0	0	0	0	0	1	1

【登録人数】・・・ファイルサーバーに登録されているユーザー数

- ① 日付  
各情報の該当日付を表示します。
- ② 合計  
ユーザー数の合計を表示します。
- ③ 指定なし  
ユーザー管理においてユーザー区分が指定されていないユーザーID の数を表示します。

- ④ 役員  
ユーザー管理においてユーザー区分が「役員」に設定されているユーザーID の数を表示します。
- ⑤ 社員  
ユーザー管理においてユーザー区分が「社員」に設定されているユーザーID の数を表示します。
- ⑥ 嘱託  
ユーザー管理においてユーザー区分が「嘱託」に設定されているユーザーID の数を表示します。
- ⑦ 派遣  
ユーザー管理においてユーザー区分が「派遣」に設定されているユーザーID の数を表示します。
- ⑧ パート  
ユーザー管理においてユーザー区分が「パート」に設定されているユーザーID の数を表示します。
- ⑨ 社外  
ユーザー管理においてユーザー区分が「社外」に設定されているユーザーID の数を表示します。
- ⑩ その他  
ユーザー管理においてユーザー区分が「その他」に設定されているユーザーID の数を表示します。

【登録人数】・・・ファイルサーバーを利用したユーザーID の数（利用実績）

- ⑪ 合計  
ファイルサーバーにログインしたユーザー数の合計を表示します。
- ⑫ 指定なし  
ユーザー区分が指定されていないユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。
- ⑬ 役員  
ユーザー区分が「役員」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。
- ⑭ 社員  
ユーザー区分が「社員」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。

⑮ 嘱託

ユーザー区分が「嘱託」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。

⑯ 派遣

ユーザー区分が「派遣」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。

⑰ パート

ユーザー区分が「パート」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。

⑱ 社外

ユーザー区分が「社外」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。

⑲ その他

ユーザー区分が「その他」に設定されているユーザーID でファイルサーバーにログインしたユーザーID の数を表示します。

## 10.5. バックアップ処理の稼働状況を照会する

現時点でのバックアップの保存世代および保存世代ごとの取得日時を照会します。

なお、本稼働状況は、バックアップオプションサービスを【利用する】に設定されている場合に表示されます。

【利用しない】の場合は、表示されません。

- (1) 【稼働状況】—【バックアップ稼働状況】をクリックします。

クラウドファイルサーバー 管理機能						
サービス	ユーザー管理	稼働状況	ログ	サービス仕様	ツール	ヘルプ
ファイルサーバーの容量/ユーザー		ファイルサーバーの容量/ユーザー数設定状況				
2月分		利用実績推移(過去30日分)				
		キャビネット稼働状況				
		ユーザー稼働状況				
		バックアップ稼働状況				

- (2) バックアップの稼働状況が表示されます。最大 3 世代まで表示されます。

クラウドファイルサーバー 管理機能	
サービス	ユーザー管理
稼働状況	
バックアップ稼働状況	
2019年12月24日 現在	
第1世代	2019/12/21 2:00 取得
第2世代	2019/12/14 2:00 取得
第3世代	2019/12/07 2:00 取得

## 11. 操作ログを照会する

本章では、ファイルサーバーの操作ログを照会する操作について説明します。

次のように操作ログを照会やダウンロードを行うことができます。

- ・ 一般ユーザーの操作ログを照会する
- ・ 一般ユーザーの操作ログをダウンロードする
- ・ 管理機能およびキャビネットオーナー機能の操作ログを照会する
- ・ 管理機能およびキャビネットオーナー機能の操作ログをダウンロードする
- ・ バックアップデータの操作ログを照会する。
- ・ データのバックアップログを照会する。

### 11.1. 操作ログ取得の対象となる操作

管理機能とキャビネットオーナー機能、一般ユーザーの操作ログは、次のような操作を行った時に取得されます。

管理機能の操作
ファイルサーバー容量の設定
ファイルサーバーユーザー数の設定
ユーザーの新規登録・変更・削除・一括登録
キャビネットの登録・変更・削除
オプションサービスの設定
許可 IP アドレス設定変更
ネットワークドライブ利用ユーザー設定変更
タブレット版利用ユーザー設定変更

キャビネットオーナー機能の操作
キャビネット権限登録・更新・削除
キャビネットグループ登録・更新・削除
キャビネットグループ・ユーザー登録・削除
ドロー登録・更新・削除
ドローユーザー権限登録・更新・削除
ドローグループ権限登録・更新・削除

一般ユーザーの操作
アップロード
ダウンロード (表示)
ダウンロード (保存)

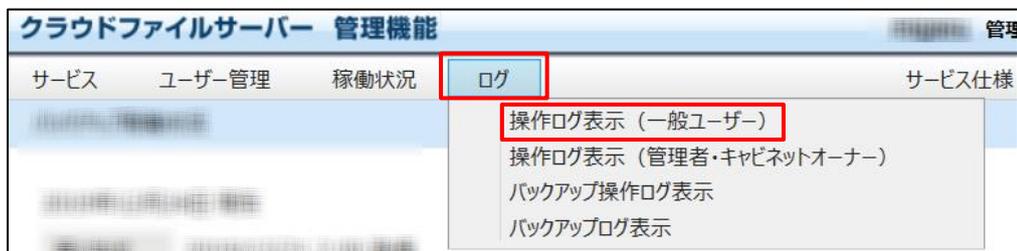
直接編集
削除
名前の変更
フォルダ作成
コピー
移動
ごみ箱内の表示
ごみ箱内の復元
ごみ箱内の削除

<注意！>

- 操作ログは、ログ発生日から 90 日間保存されます。したがって、91 日以前のログは照会できません。91 日以前のログを保存する必要がある場合は、ダウンロードして保存してください。
- ネットワークドライブ対応オプションサービスで「コピー」を行った場合、ログでは「コピー」ではなく、「ダウンロード（保存）」と「アップロード」として記録されます。

## 一般ユーザーの操作ログを照会する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【操作ログ表示（一般ユーザー）】の順番でクリックします。



- (2) 操作ログの画面が表示されます。

The screenshot shows the 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management) interface. At the top, there are navigation tabs: 'サービス', 'ユーザー管理', '稼働状況', and 'ログ'. The 'ユーザー管理' tab is selected. Below the tabs, there are links for 'サービス仕様', 'ツール', and 'ヘルプ'. The main content area is titled '操作ログ表示 (一般ユーザー)'. It contains a search filter section with the following fields: 'ユーザーID' (1), 'ユーザー名' (2), '日付' (3) with a date range of '2019/12/24' to '2019/12/24', 'アクション' (4), and 'キャビネット' (5). There are '検索する' (7) and 'クリア' (8) buttons. Below the filters is a table with columns: '日時', 'ユーザーID', 'ユーザー名', '操作', and 'キャビネット'. The table is currently empty, with a '6' indicating the log display area. At the bottom right, there is a 'ダウンロード' (9) button.

- ① ユーザーID  
検索対象のユーザーIDを指定します。
- ② ユーザー名  
検索対象のユーザー名を指定します。
- ③ 日付  
検索対象期間を開始日付と終了日付で指定します。日付は入力またはカレンダーから指定できます。開始日付を省略した場合は、終了日付以前のログが検索対象となります。終了日付を省略した場合は、開始日付以降のログが検索対象となります。開始日付と終了日付とも省略した場合は、全てのログが検索対象となります。
- ④ アクション  
対象となる操作を指定します。
- ⑤ キャビネット  
検索対象のキャビネット名を指定します。
- ⑥ ログ表示エリア  
ログを表示します。

- ⑦ 「検索する」ボタン  
指定した条件で検索します。
  - ⑧ 「クリア」ボタン  
指定した検索条件をクリアにします。
  - ⑨ 「ダウンロード」ボタン  
ログ表示エリアに表示されているログを CSV 形式でダウンロードします。
- (3) 【検索する】をクリックします。検索条件を指定しなかった場合は、全てのログが検索対象となります。【クリア】をクリックすると検索条件が全てクリアされます。

The screenshot shows the 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management) interface. The top navigation bar includes 'サービス', 'ユーザー管理', '稼働状況', 'ログ', 'サービス仕様', 'ツール', and 'ヘルプ'. The main content area is titled '操作ログ表示 (一般ユーザー)'. Below this, there is a 'ログ検索条件' (Log Search Criteria) section with the following fields:

- ユーザーID:
- ユーザー名:
- 日付: 2019/12/24 15 ~ 2019/12/24 15
- アクション:
- キャビネット:

At the bottom right of the search criteria section, there are two buttons: '検索する' (Search) and 'クリア' (Clear). The '検索する' button is highlighted with a red box. Below the search criteria is a table with the following columns: '日時', 'ユーザーID', 'ユーザー名', '操作', and 'キャビネット'. The table is currently empty. At the bottom right of the interface, there is a 'ダウンロード' (Download) button.

- (4) 検索結果が表示されます。検索結果は最大 5,000 件まで表示されます。

クラウドファイルサーバー 管理機能
管理者 ログアウト FUJITSU

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ
サービス仕様 ツール ヘルプ

操作ログ表示 (一般ユーザー)

ログ検索条件

ユーザーID

ユーザー名

日付 2019/12/24  ~ 2019/12/24

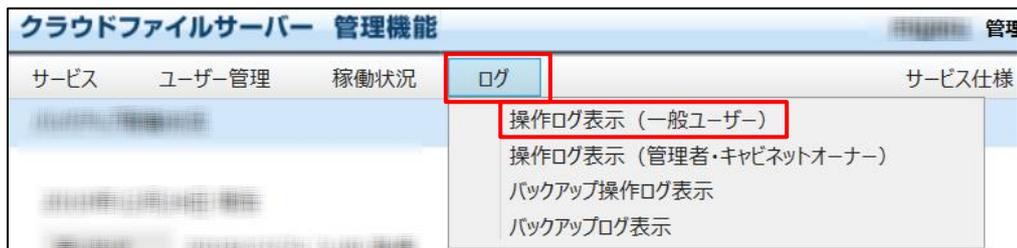
アクション

キャビネット

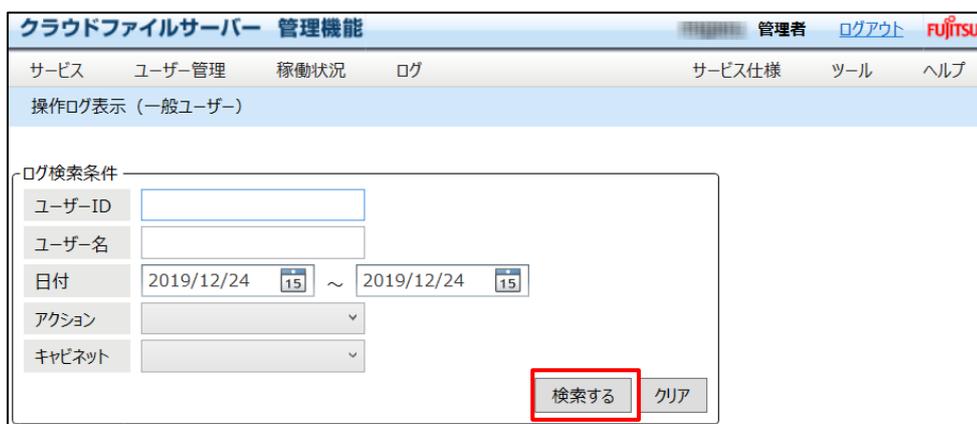
日時	ユーザーID	ユーザー名	操作	キャビネット
2019/12/24 13:58:19	*****	*****	*****	*****
2019/12/24 13:56:14	*****	*****	*****	*****
2019/12/24 13:54:47	*****	*****	*****	*****
2019/12/24 13:42:12	*****	*****	*****	*****
2019/12/24 13:32:12	*****	*****	*****	*****

## 11.2. 一般ユーザーの操作ログをダウンロードする

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【操作ログ表示（一般ユーザー）】の順番でクリックします。



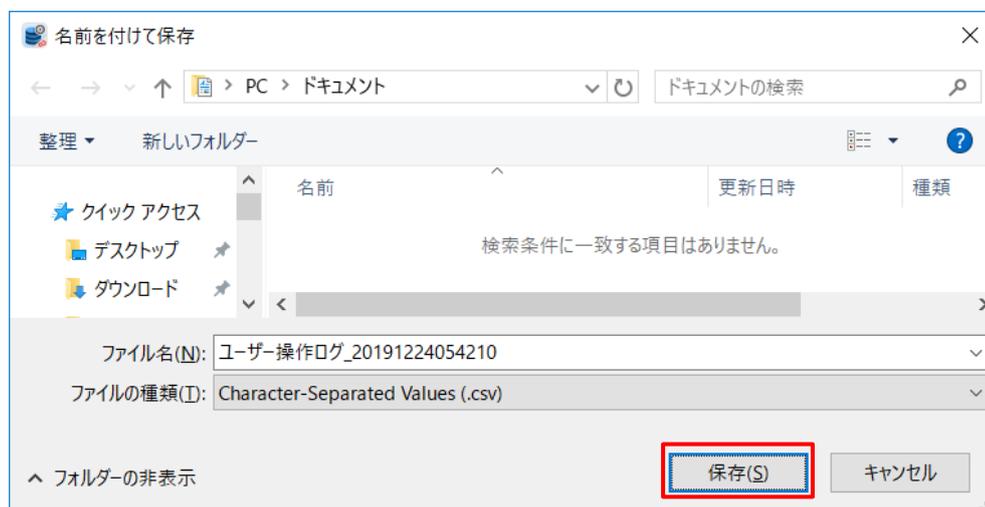
- (2) 一般ユーザーの操作ログ表示画面が表示されます。検索条件を指定して【検索】をクリックします。



- (3) 検索結果が表示されます。【ダウンロード】をクリックします。

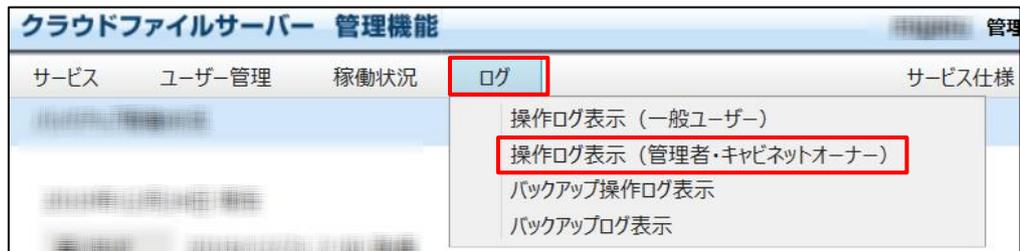


- (4) ダウンロード先（パソコン）の画面が表示されます。ダウンロード先のフォルダを指定すると、ダウンロードが開始されます。CSV形式でダウンロードされます。ファイル名はダウンロードするたびにユニークなファイル名となります。



#### 11.4. 管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログを照会する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【操作ログ表示（管理者・キャビネットオーナー）】の順番でクリックします。



- (2) ファイルサーバー管理者の管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログ表示画面が表示されます。



- ① ユーザーID  
検索対象のユーザーIDを指定します。
- ② ユーザー名  
検索対象のユーザー名を指定します。
- ③ 日付  
検索対象期間を開始日付と終了日付で指定します。日付は入力またはカレンダーから指定できます。開始日付を省略した場合は、終了日付以前の全てのログが検索対象となります。終了日付を省略した場合は、開始日付以降の全てのログが検索対象となります。開始日付と終了日付とも省略した場合は、全ての日付のログが検索対象となります。

- ④ ログ表示エリア  
ファイルサーバー管理者の管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログを表示します。

- ⑤ 「検索する」ボタン  
指定した条件で検索します。

- ⑥ 「クリア」ボタン  
指定した検索条件をクリアにします。

- ⑦ 「ダウンロード」ボタン  
ログ表示エリアに表示されているログを CSV 形式でダウンロードします。

- (3) 【検索する】をクリックします。検索条件を指定しなかった場合は、全てのログが検索対象となります。【クリア】をクリックすると検索条件が全てクリアされます。

クラウドファイルサーバー 管理機能

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ サービス仕様 ツール ヘルプ

操作ログ表示 (管理者・キャビネットオーナー)

ログ検索条件

ユーザーID

ユーザー名

日付 2019/12/24 15 ~ 2019/12/24 15 **検索する** クリア

- (4) 検索結果が表示されます。

クラウドファイルサーバー 管理機能

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ サービス仕様 ツール ヘルプ

操作ログ表示 (管理者・キャビネットオーナー)

ログ検索条件

ユーザーID

ユーザー名

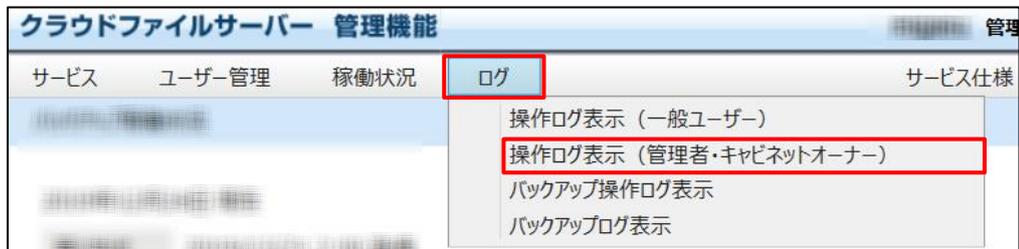
日付 2019/12/24 15 ~ 2019/12/24 15 検索する クリア

日時	ユーザーID	ユーザー名	操作	キャビネット
2019/12/24 11:43:07	manager	管理者	ログイン	
2019/12/24 11:36:31	manager	管理者	ログイン	
2019/12/24 11:29:26	manager	管理者	ログイン	

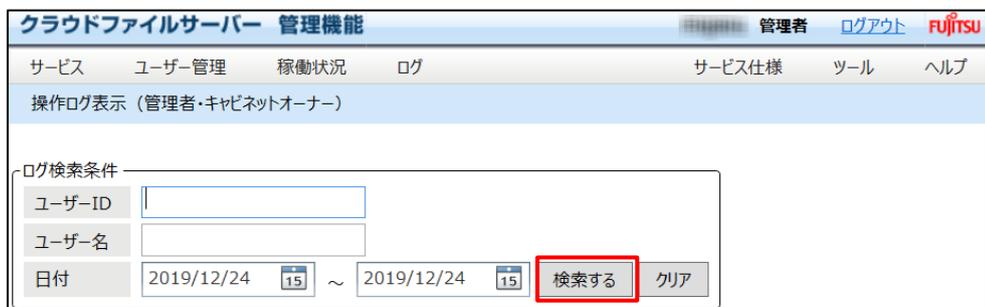
ダウンロード

## 11.5. 管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログをダウンロードする

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【操作ログ表示（管理者・キャビネットオーナー）】の順番でクリックします。



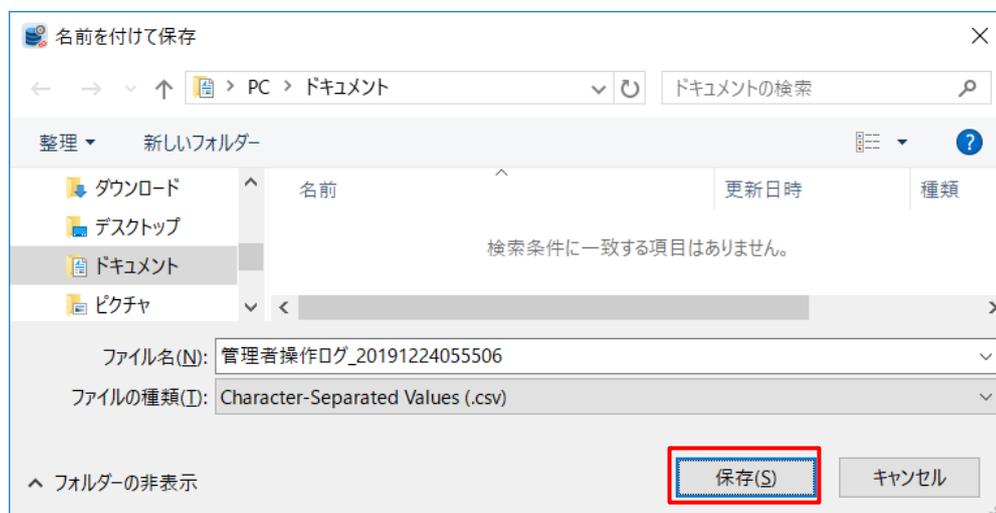
- (2) ファイルサーバー管理者の管理機能とキャビネットオーナー機能の操作ログ表示画面が表示されます。検索条件を指定してログを【検索】をクリックします。



- (3) 検索結果が表示されます。【ダウンロード】をクリックします。

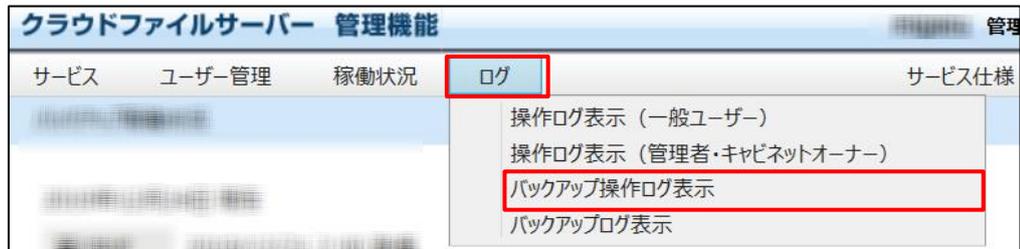


- (4) ダウンロード先（パソコン）の画面が表示されます。ダウンロード先のフォルダを指定すると、ダウンロード先に CSV 形式で保存されます。ファイル名はダウンロードするたびにユニークなファイル名となります。



## 11.6. バックアップデータの操作ログを照会する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【バックアップ操作ログ表示】の順番でクリックします。「バックアップ操作ログ表示」メニューと「バックアップログ表示」メニューは、バックアップオプションサービスを「利用する」と設定したときに表示されます。「利用しない」では、表示されません。



- (2) バックアップ操作ログの検索画面が表示されます。



- ① ユーザーID  
検索対象のユーザーIDを指定します。
- ② ユーザー名  
検索対象のユーザー名を指定します。
- ③ 日付  
検索対象期間を開始日付と終了日付で指定します。日付は入力またはカレンダーから指定できます。

- ④ アクション  
対象となる操作を指定します。
- ⑤ キャビネット  
検索対象のキャビネット名を指定します。
- ⑥ ログ表示エリア  
検索したログを表示します。
- ⑦ 「検索する」ボタン  
指定した条件で検索します。
- ⑧ 「クリア」ボタン  
指定した検索条件をクリアにします。
- ⑨ 「ダウンロード」ボタン  
ログ表示エリアに表示されているログを CSV 形式でダウンロードします。

(3) 【検索する】をクリックします。

The screenshot shows the 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management) interface. At the top, there are navigation tabs: サービス, ユーザー管理, 稼働状況, ログ, サービス仕様, ツール, ヘルプ. The current page is 'バックアップ操作ログ表示' (Backup Operation Log Display). Below this, there is a search filter section titled 'ログ検索条件' (Log Search Conditions) with the following fields: ユーザーID (text input), ユーザー名 (text input), 日付 (Date) set to 2019/12/24 15 ~ 2019/12/24 15, アクション (Action) dropdown, and キャビネット (Cabinet) dropdown. At the bottom right of the filter section are two buttons: '検索する' (Search) and 'クリア' (Clear). Below the filter section is a table header with columns: 日時 (Date/Time), ユーザーID (User ID), ユーザー名 (User Name), 操作 (Operation), and キャビネット (Cabinet). A 'ダウンロード' (Download) button is located at the bottom right of the table area.

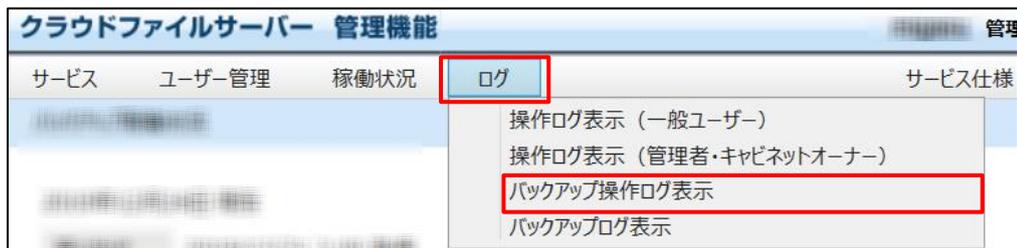
(4) バックアップ操作ログの検索結果が表示されます。

The screenshot shows the 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management) interface. The top navigation bar includes 'サービス', 'ユーザー管理', '稼働状況', and 'ログ'. The 'ログ' (Log) section is active, displaying 'バックアップ操作ログ表示' (Backup Operation Log Display). Below this, there is a search criteria form with fields for 'ユーザーID', 'ユーザー名', '日付' (Date), 'アクション' (Action), and 'キャビネット' (Cabinet). The date range is set from 2019/09/01 to 2019/12/24. Search buttons '検索する' (Search) and 'クリア' (Clear) are present. Below the search form, a table displays the search results. The table has columns for '日時' (Date/Time), 'ユーザーID', 'ユーザー名', '操作' (Action), and 'キャビネット'. Three log entries are visible, all dated 2019/11/20 at 14:19. The actions are 'ログアウト', 'ログイン', and 'ログイン失敗'. A 'ダウンロード' (Download) button is located at the bottom right of the table area.

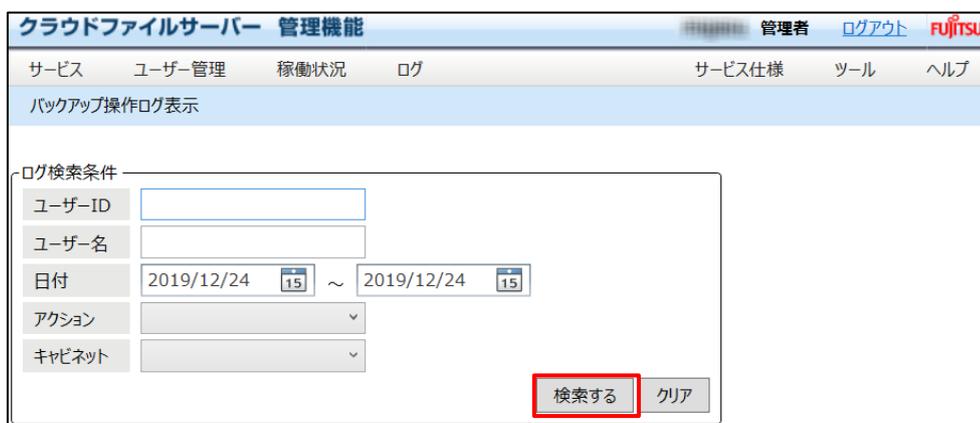
日時	ユーザーID	ユーザー名	操作	キャビネット
2019/11/20 14:19:28	[REDACTED]	[REDACTED]	ログアウト	
2019/11/20 14:19:19	[REDACTED]	[REDACTED]	ログイン	
2019/11/20 14:19:13	[REDACTED]	[REDACTED]	ログイン失敗	

## 11.7. バックアップデータの操作ログをダウンロードする

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【バックアップ操作ログ表示】の順番でクリックします。



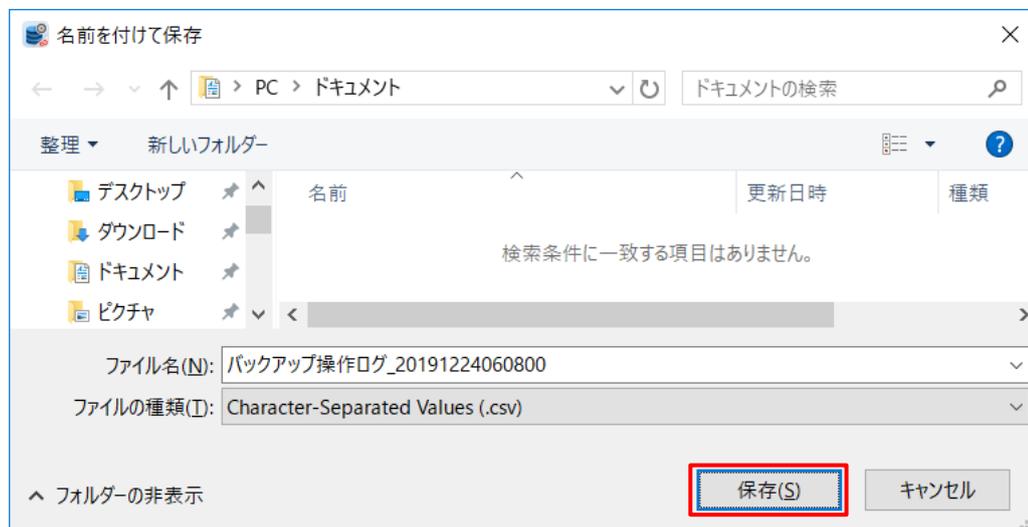
- (2) バックアップ操作ログの検索画面が表示されます。検索条件を指定して、【検索する】をクリックします。



- (3) バックアップ操作ログの検索結果が表示されます。【ダウンロード】をクリックします。

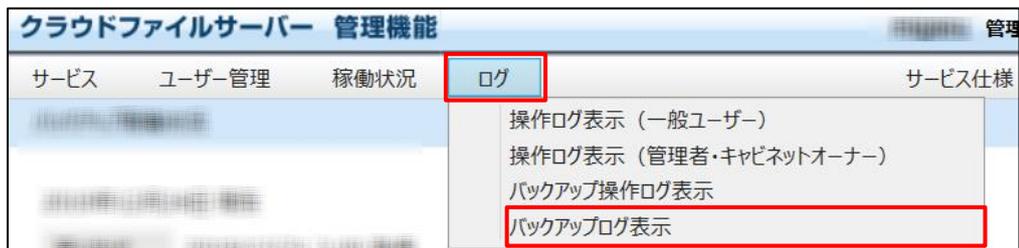


- (4) ダウンロード先（パソコン）の画面が表示されます。ダウンロード先のフォルダを指定すると、ダウンロード先に CSV 形式で保存されます。ファイル名はダウンロードするたびにユニークなファイル名となります。



## 11.8. データのバックアップログを照会する

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【バックアップログ表示】の順番でクリックします。



- (2) バックアップログの検索画面が表示されます。



- ① 処理開始日  
バックアップを開始した日付を指定します。
- ② ログ表示エリア  
検索結果のログが表示されるエリアです。
- ③ 「検索する」ボタン  
検索処理を開始するときにクリックするボタンです。
- ④ 「クリア」ボタン  
検索条件をクリアするときにクリックするボタンです。
- ⑤ 「ダウンロード」ボタン  
検索結果をダウンロードするときにクリックするボタンです。

- (3) 【検索する】をクリックします。

クラウドファイルサーバー 管理機能

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ サービス仕様 ツール ヘルプ

バックアップログ表示

ログ検索条件

処理開始日 2019/12/24 15 ~ 2019/12/24 15

検索する クリア

処理開始日時	処理終了日時	処理	バックアップデータ

ダウンロード

- (4) 検索結果が表示されます。

クラウドファイルサーバー 管理機能

サービス ユーザー管理 稼働状況 ログ サービス仕様 ツール ヘルプ

バックアップログ表示

ログ検索条件

処理開始日 2019/09/01 15 ~ 2019/12/24 15

検索する クリア

① 処理開始日時	② 処理終了日時	③ 処理	④ バックアップデータ	⑤
2019/12/21 02:31:54	2019/12/21 02:33:22	バックアップ削除	2019/11/30 02:00 取得	
2019/12/21 02:00:34	2019/12/21 02:31:54	バックアップ取得	2019/12/21 02:00 取得	
2019/12/14 02:28:58	2019/12/14 02:30:23	バックアップ削除	2019/11/23 02:01 取得	

ダウンロード

- ① 処理開始日時  
バックアップ処理を開始した日時を表示します。
- ② 処理終了日時  
バックアップ処理が終了した日時を表示します。

③ 処理

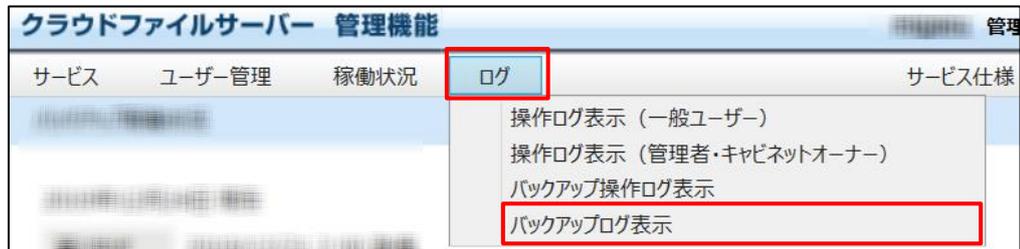
バックアップで行われる処理を表示します。「バックアップ取得」は、バックアップ処理を示します。「バックアップ削除」は、設定された世代数を超えてバックアップした場合、超えた世代のバックアップデータを削除したことを示します。

④ バックアップデータ

処理の対象となるバックアップデータを示します。バックアップデータは、バックアップされた日時で表示されます。

## 11.9. データのバックアップログをダウンロードする

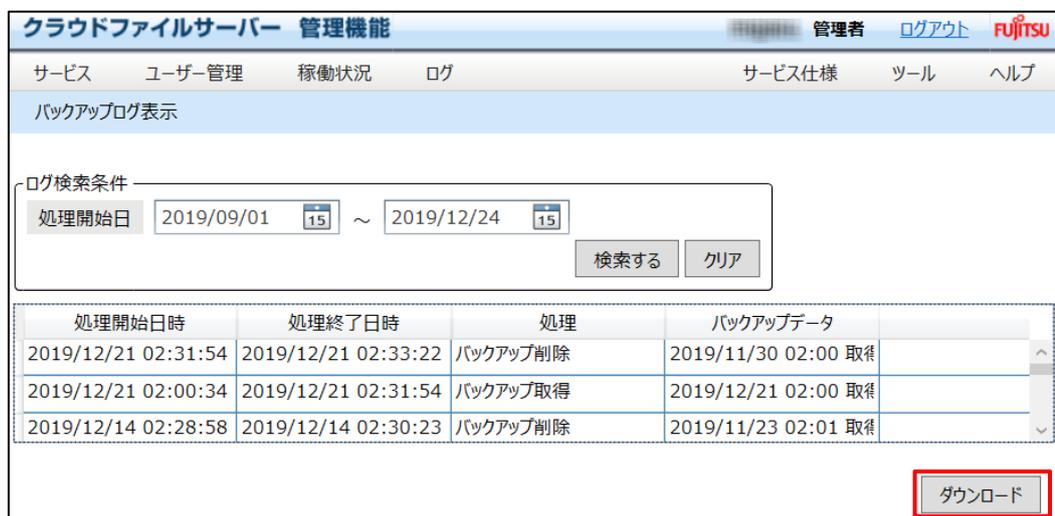
- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ログ】-【バックアップログ表示】の順番でクリックします。



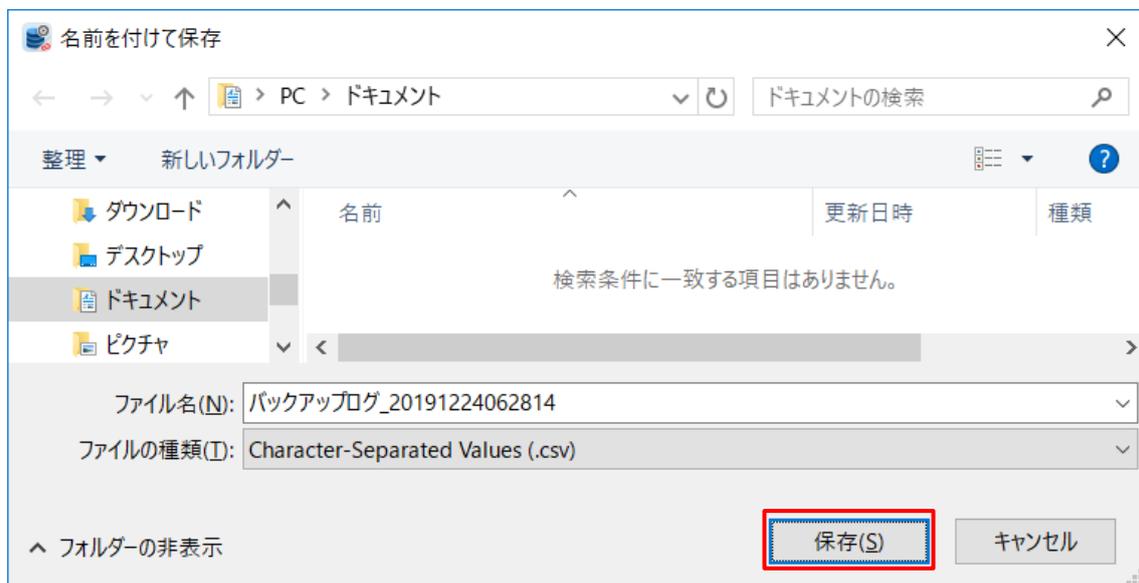
- (2) バックアップログの検索画面が表示されます。検索条件を指定して、【検索する】をクリックします。



- (3) バックアップログの検索結果が表示されます。【ダウンロード】をクリックします。



- (4) ダウンロード先 (パソコン) の画面が表示されます。ダウンロード先のフォルダを指定すると、ダウンロード先に CSV 形式で保存されます。ファイル名はダウンロードするたびにユニークなファイル名となります。



## 12. パスワードを変更する

本章では、ファイルサーバー管理者のパスワード変更の操作について説明します。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ツール】-【パスワード変更】の順番でクリックします。



- (2) パスワード変更画面が表示されます。

The screenshot shows the 'パスワード変更' (Change Password) form. At the top, there is a header with 'クラウドファイルサーバー 管理機能' (Cloud File Server Management Function) and '管理者' (Admin) with 'ログアウト' (Logout) and 'FUJITSU' logo. Below the header is a navigation bar with 'サービス' (Service), 'ユーザー管理' (User Management), '稼働状況' (Operational Status), 'ログ' (Log), 'サービス仕様' (Service Specifications), and 'ツール' (Tools). The form contains the following fields and buttons:

- ユーザーID: ① manager
- ユーザー名: ② 管理者
- 現パスワード: ③
- 新パスワード: ④
- 新パスワード (確認): ⑤
- ⑥ OK button
- ⑦ キャンセル (Cancel) button

- ① ユーザーID

ログインしているユーザーID が表示されます。このユーザーID のパスワードが変更対象となります。

- ② ユーザー名

ログインしているユーザー名が表示されます。

- ③ 現パスワード

ログインしているユーザーID の現在のパスワードを入力します。

## ④ 新パスワード

新しいパスワードを入力します。パスワードは、半角 8 文字以上 32 文字以下で入力してください。パスワードに使えるのは、全ての英字と数字および記号です。大文字と小文字は区別されます。パスワードの組み合わせ文字はシステム管理の設定により異なり、以下の入力となります。

パターン 1 が設定されている場合	パターン 2 が設定されている場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英字と数字</li> <li>・ 英字と記号</li> <li>・ 数字と記号</li> <li>・ 英字と数字と記号</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英字と数字と記号</li> </ul>

## ⑤ 新パスワード（確認）

「④新パスワード」で入力したパスワードを再度入力します。

## ⑥ 「OK」ボタン

パスワードを変更します。

## ⑦ 「キャンセル」ボタン

パスワード変更をキャンセルします。

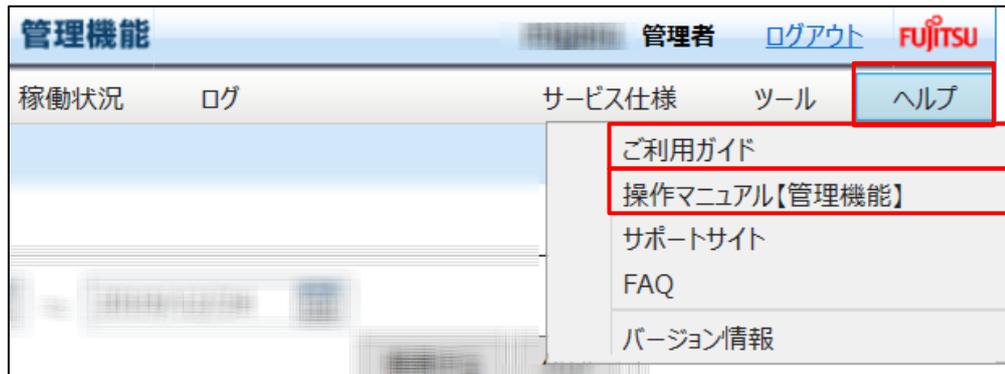
## (3) 【OK】をクリックします。

The screenshot shows the 'パスワード変更' (Change Password) page in the management interface. The user ID is 'manager' and the user name is '管理者'. There are three password input fields: '現パスワード' (Current Password), '新パスワード' (New Password), and '新パスワード (確認)' (New Password (Confirmation)). At the bottom, the 'OK' button is highlighted with a red box, and the 'キャンセル' (Cancel) button is also visible.

### 13. マニュアルを閲覧する

本章では、マニュアルを閲覧する操作について説明します。

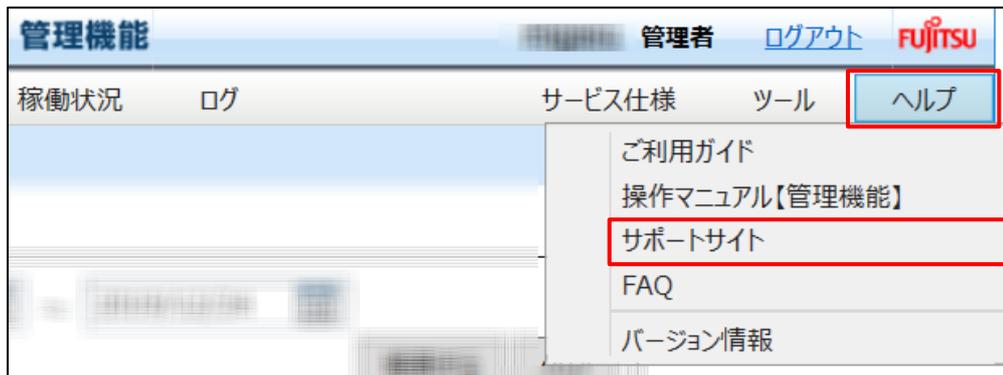
- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ヘルプ】をクリックします。
- (2) 「[クラウドファイルサーバーご利用ガイド](#)」は、【ご利用ガイド】をクリックします。「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【管理機能】](#)」は、【操作マニュアル【管理機能】】をクリックします。



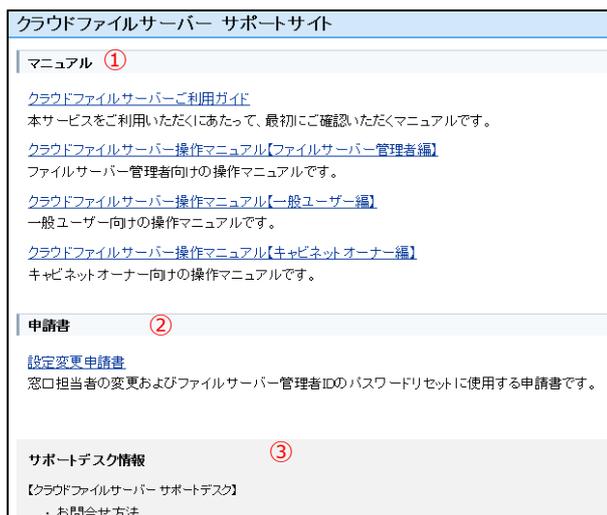
## 14. ファイルサーバーのサポートサイトを表示する

本章では、ファイルサーバーのサポートサイトを表示する操作について説明します。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ヘルプ】-【サポートサイト】の順番でクリックします。



- (2) サポートサイトが別画面で表示されます。

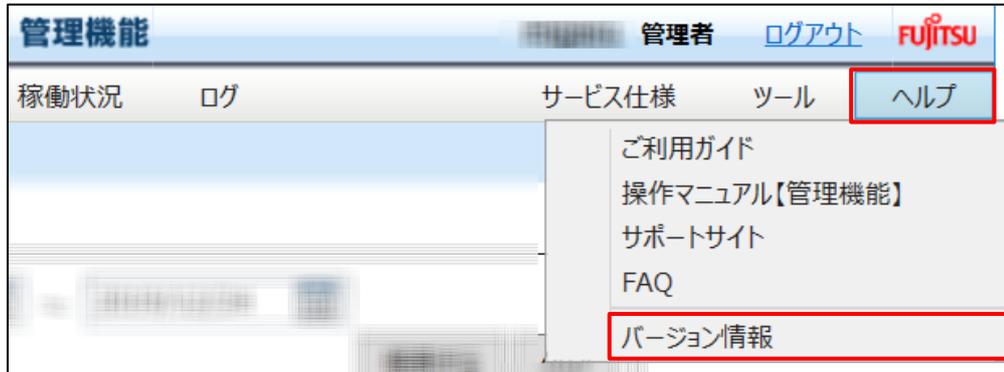


- ① マニュアル  
ファイルサーバーご利用ガイドと各操作マニュアルを PDF 形式で表示します。
- ② 申請書  
サービス管理者の変更および管理権限保有 ID のパスワードリセットに使用する申請書を掲載しています。
- ③ サポートデスク情報  
サポートデスクへのお問い合わせ方法や受付時間を表示します。

## 15. 管理機能のバージョン情報を確認する

本章では、管理機能のバージョン情報を確認する操作について説明します。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアの【ヘルプ】-【バージョン情報】の順番でクリックします。



- (2) 現在のバージョン情報が表示されます。



## 16. オプションサービスの利用設定を行う

本章では、オプションサービスのバックアップオプションサービスとタブレット対応オプションサービス、ネットワークドライブ対応オプションサービスを利用するための設定について説明します。

オプションサービスは、次のような設定を行います。

- (1) バックアップオプションサービス
  - ・ バックアップの利用有無の設定
  - ・ バックアップの開始時間の設定
  - ・ バックアップの取得曜日の設定
  - ・ バックアップデータの保存世代数の設定
  
- (2) タブレット対応オプションサービス
  - ・ タブレット対応オプションサービスの利用有無の設定
  - ・ タブレット対応オプションサービスの利用ユーザーの設定
  - ・ IP アドレスアクセス制限の利用有無の設定
  - ・ アクセスを許可する IP アドレスの設定
  
- (3) ネットワークドライブ対応オプションサービス
  - ・ ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用有無の設定
  - ・ ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用ユーザーの設定
  - ・ IP アドレスアクセス制限の利用有無の設定
  - ・ アクセス許可する IP アドレスの設定

なお、バックアップオプションサービスは、ファイルサーバー管理者が上記の設定を行った後、キャビネットオーナーがバックアップされたキャビネットへのユーザーのアクセス許可を設定する必要があります。詳細な操作については、「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【キャビネットオーナー機能】](#)」の 8.3 バックアップされたキャビネットへのアクセス権限を設定する」をご覧ください。

## 16.1. バックアップオプションサービスの利用設定を行う

バックアップオプションサービスを利用するための設定手順は、次のとおりです。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアで【サービス】-【オプションサービス管理】の順番でクリックします。



- (2) オプションサービス管理画面が表示されます。

バックアップオプションサービスを利用する場合は、バックアップの【利用する】をクリックします。



- (3) バックアップの【設定】ボタンが活性化されます。

【設定】をクリックします。



- (4) バックアップオプションサービスの設定画面が表示されますので、バックアップ処理の動作条件を設定します。
- 【開始時間】は、バックアップ処理を開始する時間を設定します。開始時間は、10分単位で設計できます。
- 【曜日】は、バックアップを行う曜日を設定します。
- 【保持世代数】は、バックアップデータを保存する世代数を設定します。
- 最後に【保存】をクリックします。

バックアップ設定

開始時間 00 時 00 分

曜日  日  月  火  水  木  金  土

保持世代数 世代

保存 キャンセル

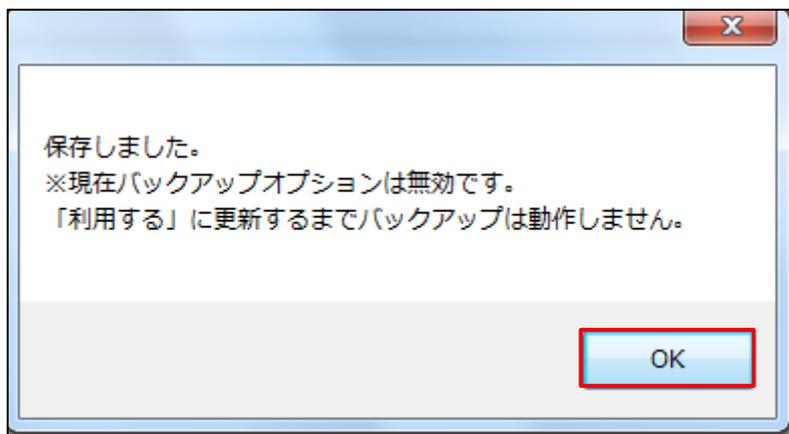
- (5) 保存確認画面が表示されます。
- 【はい】をクリックします。

保存確認

変更を保存しますか?

はい(Y) いいえ(N)

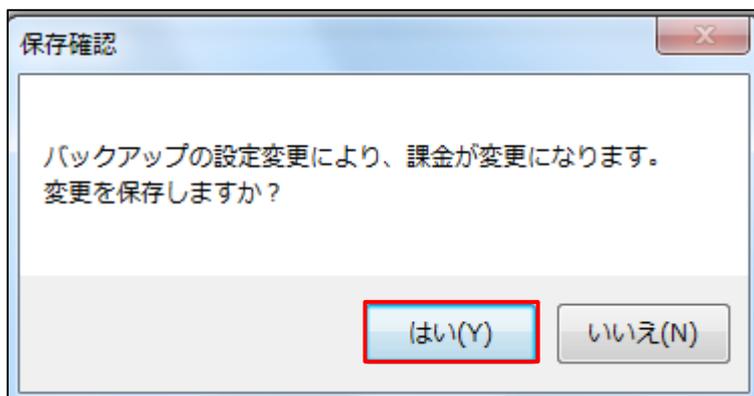
- (6) 保存完了画面が表示されます。  
バックアップオプションサービスを有効にするために、オプションサービス管理画面で【更新する】をクリックする必要があります。【OK】をクリックします。



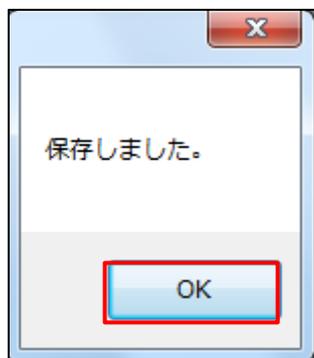
- (7) オプションサービス管理画面が表示されます。  
バックアップオプションサービスを有効にするために、【更新する】をクリックします。



- (8) 課金の変更確認画面が表示されます。【はい】をクリックします。



- (9) バックアップオプションサービスの利用設定確認画面が表示されます。  
【OK】をクリックします。



以上でファイルサーバー管理者のバックアップオプションサービスの設定操作は完了です。

キャビネットオーナーの作業として、バックアップされたキャビネットへのアクセス権限の設定が必要です。設定手順は、「[クラウドファイルサーバー操作マニュアル【キャビネットオーナー機能】](#)」をご覧ください。

## 16.2. タブレット対応オプションサービスの利用設定を行う

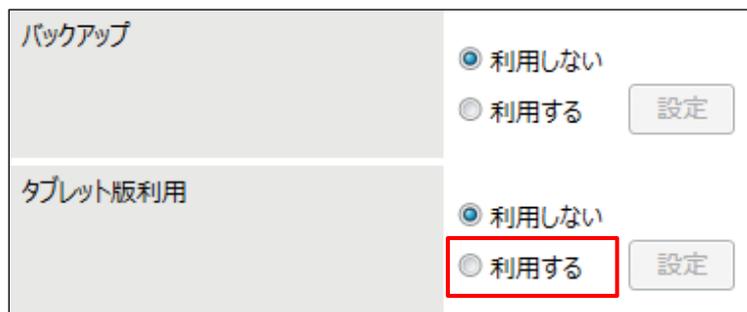
タブレット対応オプションサービスを利用するための設定手順は、次のとおりです。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアで【サービス】-【オプションサービス管理】の順番でクリックします。



- (2) オプションサービス管理画面が表示されます。

タブレット対応オプションサービスを利用する場合は、タブレット版利用の【利用する】をクリックします。



- (3) タブレット版利用の【設定】ボタンが活性化されます。

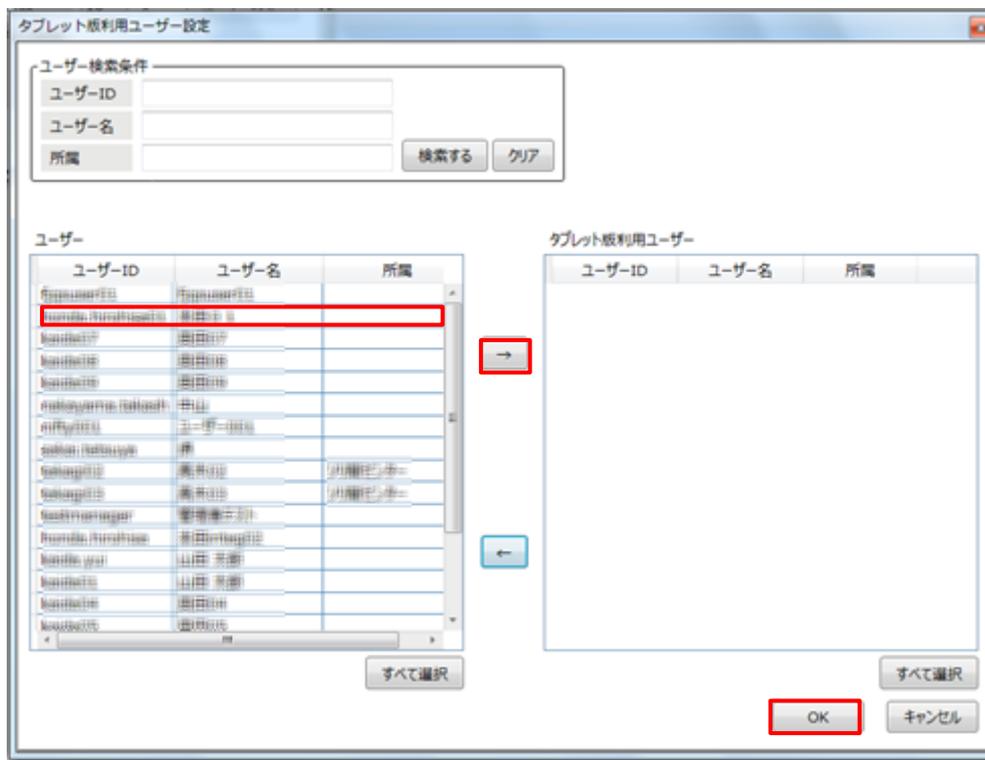
【設定】をクリックします。



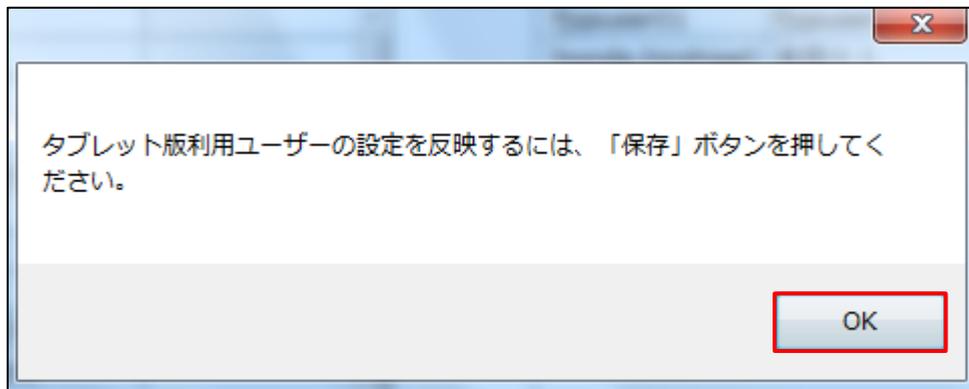
- (4) タブレット対応オプションサービスの設定画面が表示されますので、動作条件を設定します。  
【ユーザー設定】ボタンをクリックし、タブレット版を利用するユーザーを設定します。



タブレット版利用ユーザー設定画面が表示されます。タブレット版を利用するユーザーの設定は、「ユーザー」領域から「タブレット版利用ユーザー」領域に設定します。設定は、ユーザーを選択し、【→】ボタンをクリックします。タブレット版の利用対象外にする場合は、「タブレット版利用ユーザー」領域のユーザーを選択し、【←】ボタンをクリックします。設定を保存するには、【OK】ボタンをクリックします。なお、Shift キーを押下したまま、複数のユーザーを複数選択することができます。また、ユーザー検索条件で該当ユーザーを検索することができます。

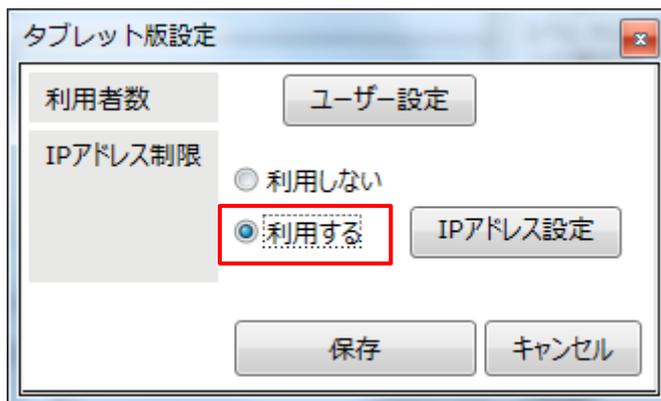


タブレット版利用ユーザーの設定反映確認画面が表示されます。設定内容を保存するには、【OK】ボタンのクリック後に表示されるタブレット版設定画面で【保存】ボタンをクリックしてください。ここでは、【OK】ボタンをクリックします。

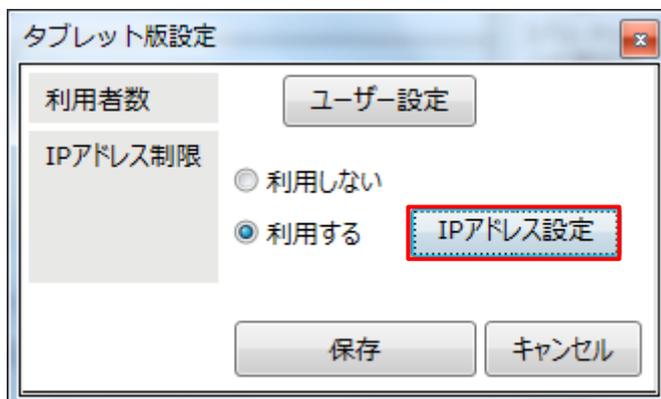


タブレット版設定画面に戻ります。

IP アドレスによるアクセス制限を設定する場合は、「IP アドレス制限」で【利用する】をクリックします。



【IP アドレス設定】ボタンが活性化されます。【IP アドレス設定ボタン】をクリックします。



IP アドレス許可設定画面が表示されます。アクセスを許可する IP アドレスを入力し【追加】ボタンをクリックします。

IPアドレス許可設定

IPアドレス

IPアドレス許可リスト

No	IPアドレス
----	--------

【操作説明】

- IPアドレスを登録する際は、IPアドレスを入力し「追加」ボタンを押してください。
- IPアドレスを削除する際は、IPアドレス許可リストの該当のIPアドレスを選択し [Del]キーを押してください。
- IPアドレスの編集が完了したら「保存」ボタンを押してください。

<注意！>

- 許可対象の IP アドレスは “グローバル IP アドレス” です。事業所等からインターネットへの出口となるインターネットゲートウェイのグローバル IP アドレスを登録することで、利用する場所を制限することができます。各端末に割り振られているプライベート IP アドレスではございませんのでご注意ください。

IP アドレス許可リストに入力した IP アドレスが追加されます。なお、アクセスを許可する IP アドレスは、複数設定することができます。【保存】ボタンをクリックして IP アドレス許可設定を保存します。

IPアドレス許可設定

IPアドレス

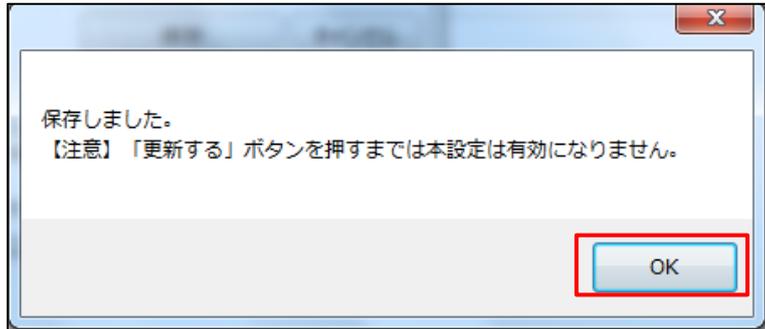
IPアドレス許可リスト

No	IPアドレス
1	10.115.84.155

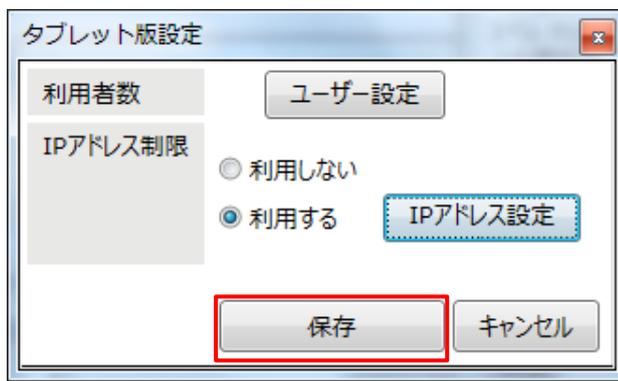
【操作説明】

- IPアドレスを登録する際は、IPアドレスを入力し「追加」ボタンを押してください。
- IPアドレスを削除する際は、IPアドレス許可リストの該当のIPアドレスを選択し [Del]キーを押してください。
- IPアドレスの編集が完了したら「保存」ボタンを押してください。

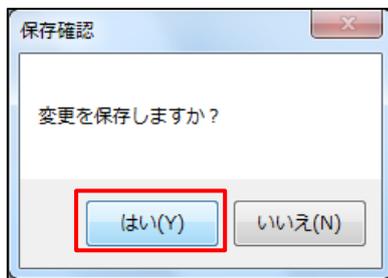
保存確認の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



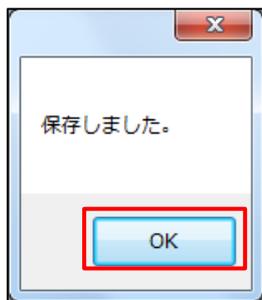
タブレット版設定画面に戻ります。【保存】ボタンをクリックし、タブレット版の設定を保存します。



保存確認画面が表示されます。【はい】をクリックします。



保存画面が表示されます。【OK】をクリックします。

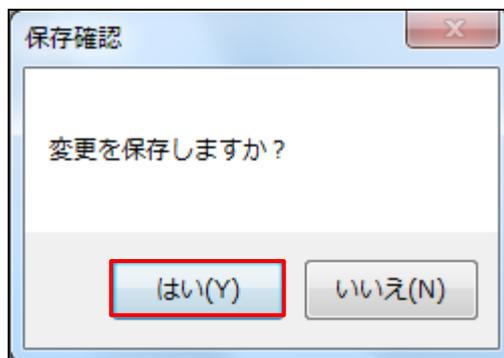


- (5) タブレット版利用を有効にするために、【更新する】をクリックします。

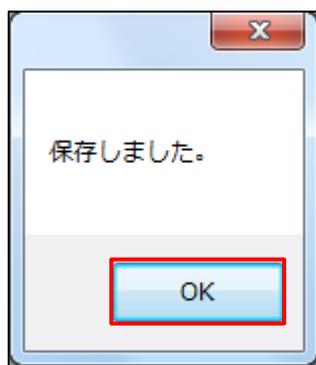


The screenshot shows a settings interface with two sections: 'バックアップ' (Backup) and 'タブレット版利用' (Tablet version usage). In the 'バックアップ' section, the '利用しない' (Do not use) radio button is selected, and there is a '設定' (Settings) button. In the 'タブレット版利用' section, the '利用する' (Use) radio button is selected, and there is a '設定' (Settings) button. At the bottom right of the page, there is a red-bordered button labeled '更新する' (Update).

- (6) オプションサービス設定の保存確認画面が表示されます。【保存する】をクリックします。



- (7) 保存完了画面が表示されます



以上でタブレット対応オプションサービスの利用設定は完了です。タブレット対応オプションサービスの設定では、キャビネットオーナーの作業はありません。

### 16.3. ネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定を行う

ネットワークドライブ対応オプションサービスを利用するための設定手順は、次のとおりです。

#### <留意事項>

- プロキシ環境にてプロキシ認証が必要な場合、ネットワークドライブはご利用できません。
- プロキシ環境ではプロキシ側で WebDAV メソッドの通信許可が必要となります。
- 禁止文字

キャビネット名、ドロア名、フォルダ名、ファイル名のいずれかに次の禁止文字が含まれている場合は、キャビネット、ドロア、フォルダ、ファイル一覧が表示されません。ネットワークドライブをご利用の場合は事前に下記の文字が含まれていないかご確認ください。含まれている場合は別の文字へ置き換えてご利用ください。

#### <キャビネット名、ドロア名における禁止文字>

禁止文字	読み方
¥	エンマーク
/	スラッシュ
:	コロン
*	アスタリスク
?	クエスチョンマーク
"	ダブルクォーテーション
<	小なり
>	大なり
	バーティカルバー
.	ピリオド ※末尾には使えません
_	アンダースコア ※ドロア名のみ対象
␣	半角スペース ※ドロア名の先頭や末尾
環境依存文字	環境依存文字（絵文字） 例) (株) ☺ など

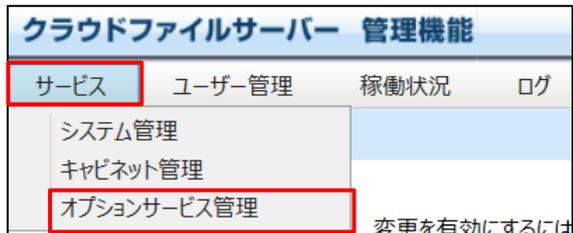
## &lt;フォルダ名、ファイル名における禁止文字&gt;

禁止文字	読み方
¥	エンマーク
/	スラッシュ
:	コロン
*	アスタリスク
?	クエスチョンマーク
"	ダブルクォーテーション
<	小なり
>	大なり
	バーティカルバー
.	ピリオド ※フォルダ名の最初と最後には使えません。
#	シャープ ※ファイル名に使われている場合 Office が起動しない場合があります。
環境依存文字	環境依存文字（絵文字） 例) (株) ☺ など

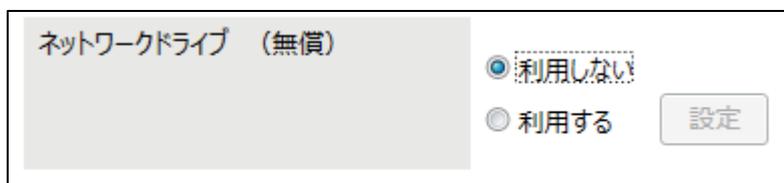
- ネットワークドライブでコピー操作をした時の操作ログは、「コピー」ではなく「ダウンロード（保存）」と「アップロード」として記録されます。
- システム設定の「ごみ箱の自動削除」を「利用する」に設定して下さい。設定方法は「7.6.ごみ箱の自動削除を設定する」をご参照ください。

ネットワークドライブでフォルダやファイルを削除した場合、ファイルサーバーの「ごみ箱」に移動します。「ごみ箱」から完全に削除するには基本サービスにログインして削除する必要があるため、「ごみ箱の自動削除」を行っていない場合、「ごみ箱」の使用容量が増大する可能性があります。

- (1) 操作メニュー表示選択エリアで【サービス】-【オプションサービス管理】の順番でクリックします。



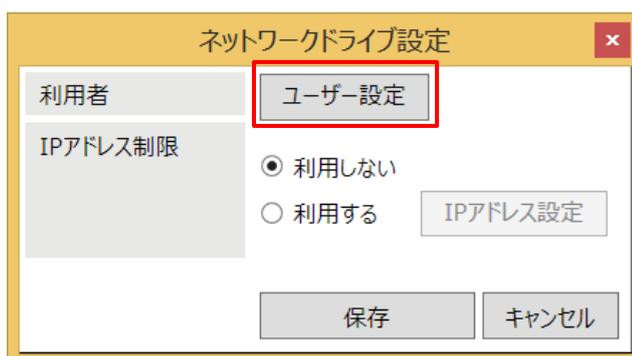
- (2) オプションサービス管理画面が表示されます。  
ネットワークドライブ対応オプションサービスを利用する場合は、ネットワークドライブの【利用する】をクリックします。



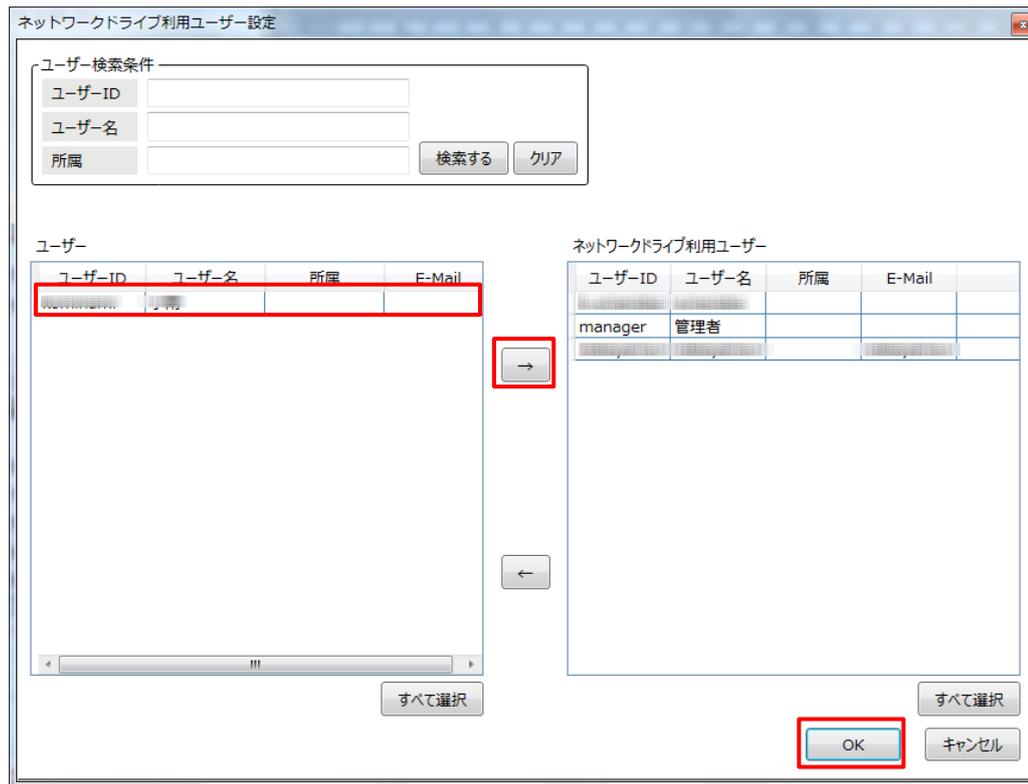
- (3) ネットワークドライブの【設定】ボタンが活性化されます。【設定】をクリックします。



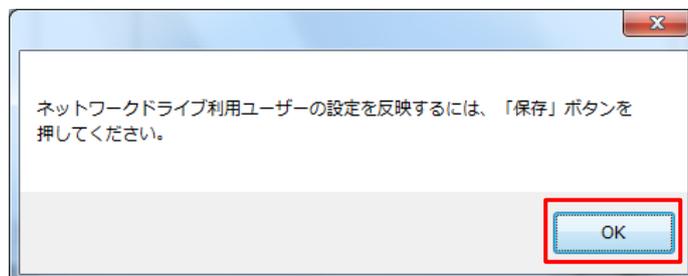
- (4) 動作条件を設定します。【利用者】は、ネットワークドライブを利用するユーザーを設定します。【ユーザー設定】ボタンをクリックし、ネットワークドライブ版を利用するユーザーを設定します。



「ネットワークドライブ利用ユーザー設定画面」が表示されます。ネットワークドライブを利用するユーザーの設定は、「ユーザー」領域から「ネットワークドライブ利用ユーザー」領域に設定します。設定は、ユーザーを選択し、【→】ボタンをクリックします。ネットワークドライブの利用対象外にする場合は、「ネットワークドライブ利用ユーザー」領域のユーザーを選択し、【←】ボタンをクリックします。設定を保存するには、【OK】ボタンをクリックします。なお、Shiftキーを押下したまま、複数のユーザーを複数選択することができます。また、ユーザー検索条件で該当ユーザーを検索することができます。



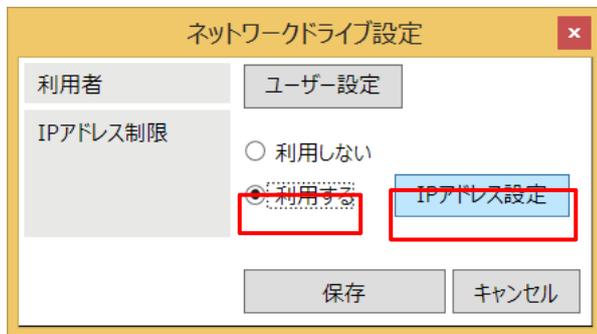
ネットワークドライブ利用ユーザーの設定反映確認画面が表示されます。設定内容を保存するには、【OK】ボタンのクリック後に表示されるネットワークドライブ設定画面で【保存】ボタンをクリックしてください。ここでは、【OK】ボタンをクリックします。



## (5) IP アドレス制限

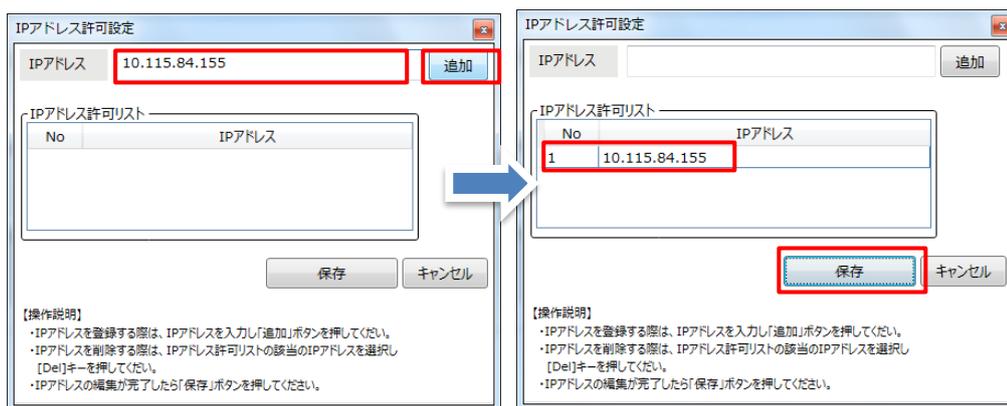
ネットワークドライブ設定画面に戻ります。

IP アドレスによるアクセス制限を設定する場合は、「IP アドレス制限」で【利用する】をクリックし、【IP アドレス設定ボタン】をクリックします。

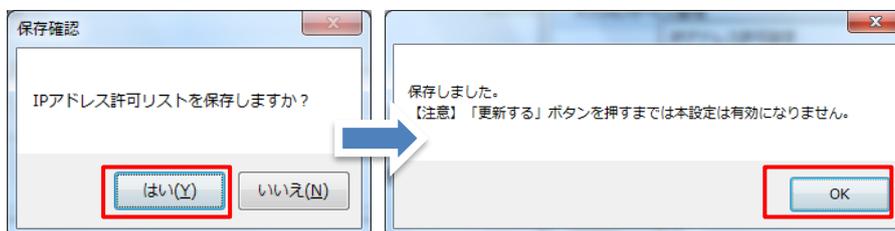


IP アドレス許可設定画面では、アクセスを許可する IP アドレスを入力し【追加】ボタンをクリックします。

IP アドレス許可リストに入力した IP アドレスが追加されます。なお、アクセスを許可する IP アドレスは、複数設定することができます。【保存】ボタンをクリックして IP アドレス許可設定を保存します。



保存確認の画面が表示されます。【はい】、【OK】をクリックします。



<注意！>

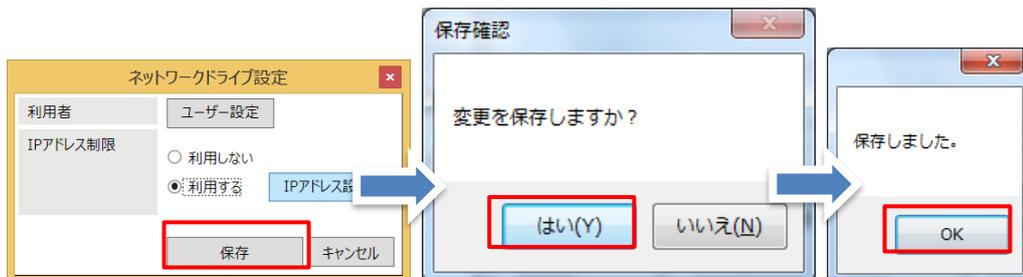
- 許可対象の IP アドレスは “グローバル IP アドレス” です。事業所等からインターネットへの出口となるインターネットゲートウェイのグローバル IP アドレスを登録することで、利用する場所を制限することができます。

す。各端末に割り振られているプライベート IP アドレスではございませんのでご注意ください。

【保存】ボタンをクリックし、ネットワークドライブの設定を保存します。

保存確認画面が表示されます。【はい】をクリックします。

保存画面が表示されます。【OK】をクリックします。

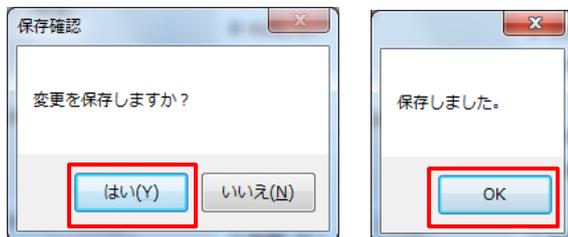


- (6) ネットワークドライブ対応オプションサービスの設定を有効にするために、【更新する】ボタンをクリックします。

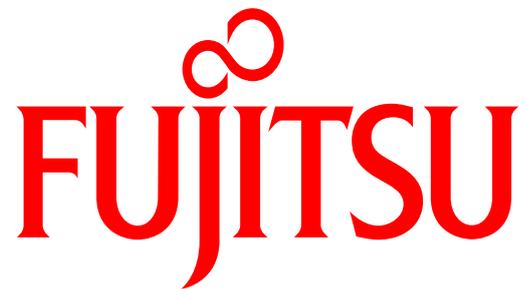


オプションサービス設定の保存確認画面が表示されます。【保存する】をクリックします。

保存完了画面が表示されます。



以上でネットワークドライブ対応オプションサービスの利用設定は完了です。



**shaping tomorrow with you**